

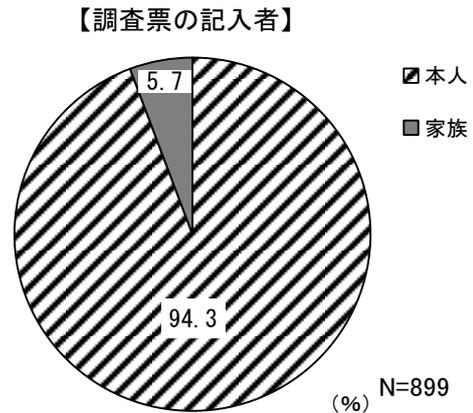
## Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査



# 1 対象者の属性

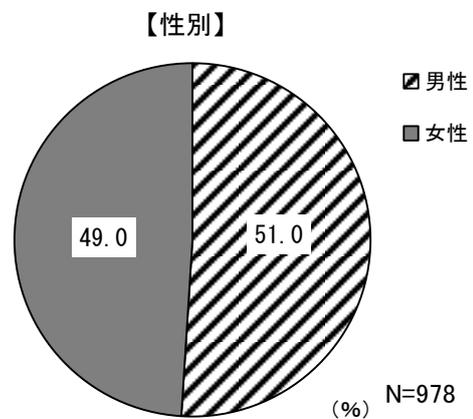
## 1-1 調査票の記入者

- 調査票の記入者は、「本人」が94.3%、「家族」が5.7%となっています。



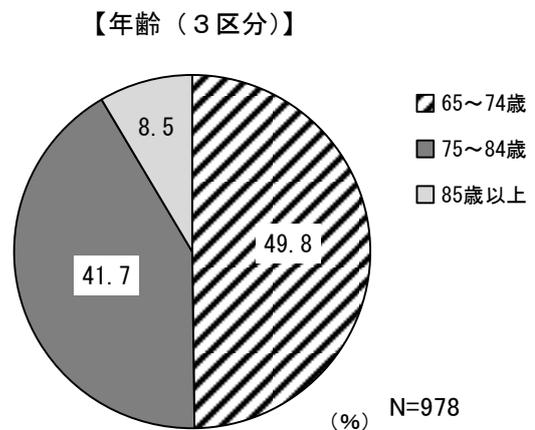
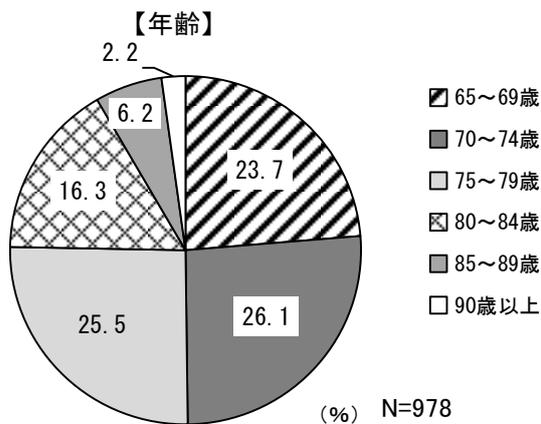
## 1-2 性別

- 調査対象者本人の性別は、「男性」が51.0%、「女性」が49.0%となっています。



## 1-3 年齢

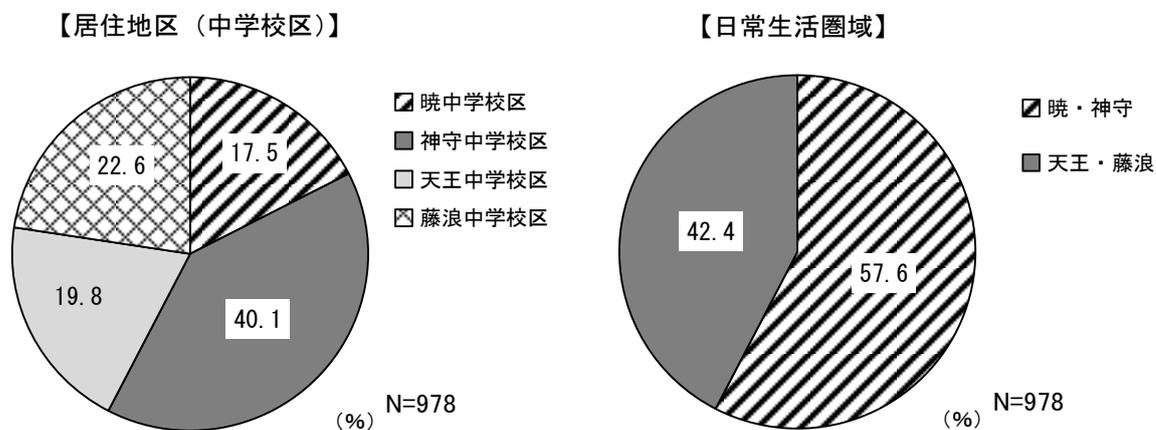
- 対象者本人の年齢は、「70～74歳」(26.1%)、「75～79歳」(25.5%)が高くなっています。3区分では、「65～74歳」が49.8%、「75～84歳」が41.7%、「85歳以上」が8.5%となっています。



※対象者の属性のうち「性別」「年齢」「居住地区」「要支援の認定状況」は、対象者の被保険者番号と市が管理する被保険者情報に関連付けて集計しました。

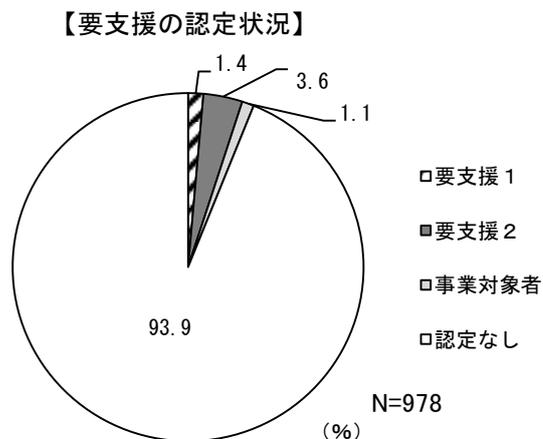
### 1-4 居住地区

- 居住地区（中学校区）は、「暁中学校区」が17.5%、「神守中学校区」が40.1%、「天王中学校区」が19.8%、「藤浪中学校区」が22.6%となっています。
- 日常生活圏域は、「暁・神守」が57.6%、「天王・藤浪」が42.4%となっています。



### 1-5 要支援の認定状況

- 要支援の認定状況は、「要支援1」が1.4%、「要支援2」が3.6%、「事業対象者」が1.1%、「認定なし」が93.9%となっています。

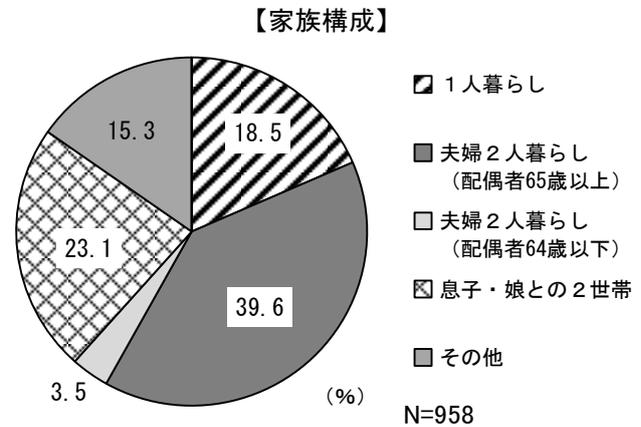


## 2 家族や生活状況について

### 2-1 家族構成

問1(1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

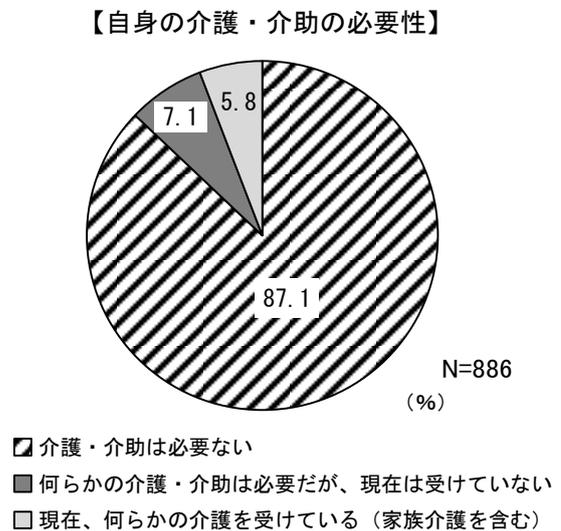
- 家族構成は、「1人暮らし」が18.5%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.6%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.5%、「息子・娘との2世帯」が23.1%となっています。



### 2-2 自身の介護・介助の必要性

問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- 自身の介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が87.1%を占め、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は7.1%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」は5.8%となっています。



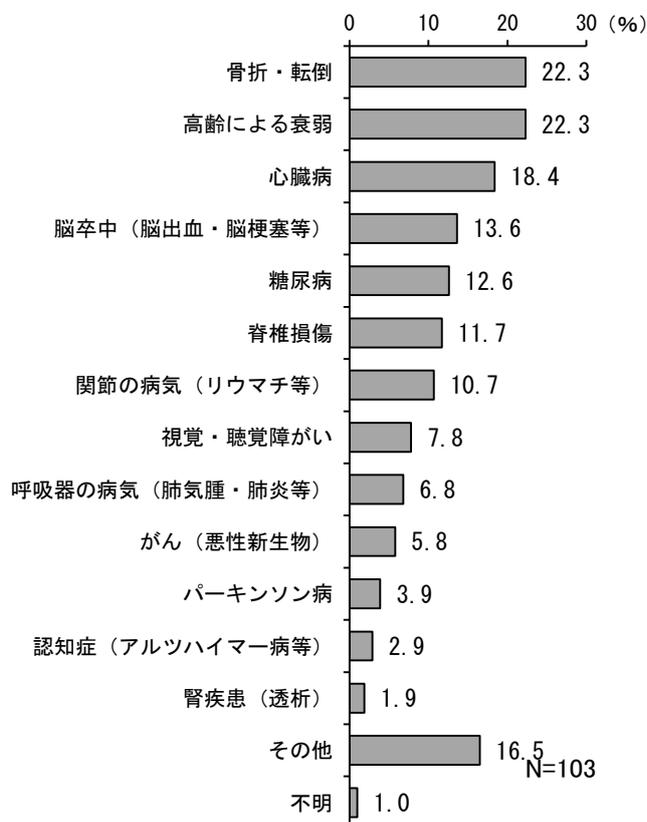
### 2-3 介護・介助が必要になった原因

(問1(2)で「2」または「3」を選んだ方に)

問1(2)-① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

- 介護・介助が必要な人に、必要になった主な原因をたずねたところ、「骨折・転倒」「高齢による衰弱」がともに22.3%で最も高く、次いで「心臓病」(18.4%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(13.6%)、「糖尿病」(12.6%)となっています。
- 前回調査と比べると、「骨折・転倒」が9.9ポイント、「心臓病」が7.1ポイント、それぞれ増加し、「がん(悪性新生物)」が7.6ポイント減少しています。

【介護・介助が必要になった原因】



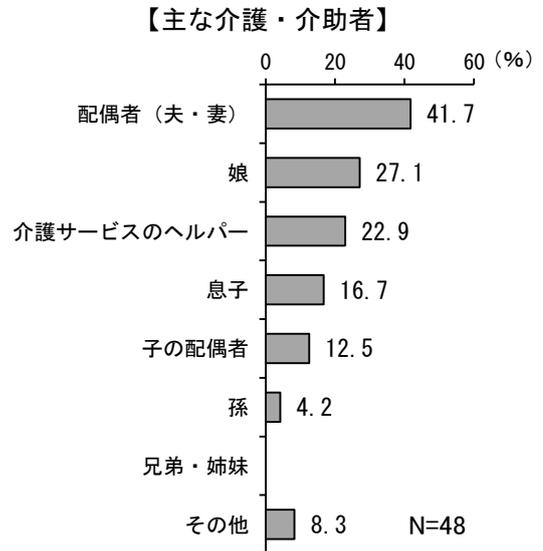
問1(2)① 介護・介助が必要になった主な原因

	件数	骨折・転倒	高齢による衰弱	心臓病	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	糖尿病	脊椎損傷	関節の病気(リウマチ等)	視覚・聴覚障がい	呼吸器の病気(肺炎等)	がん(悪性新生物)	パーキンソン病	認知症(アルツハイマー病等)	腎疾患(透析)	その他	不明
今回調査 (R1)	103	22.3	22.3	18.4	13.6	12.6	11.7	10.7	7.8	6.8	5.8	3.9	2.9	1.9	16.5	1.0
前回調査 (H29)	97	12.4	28.9	11.3	15.5	10.3	14.4	14.4	11.3	8.2	13.4	3.1	5.2	4.1	13.4	-

## 2-4 主な介護・介助者

(問1(2)で「3 現在、何らかの介護を受けている」を選んだ方に)  
 問1(2)-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

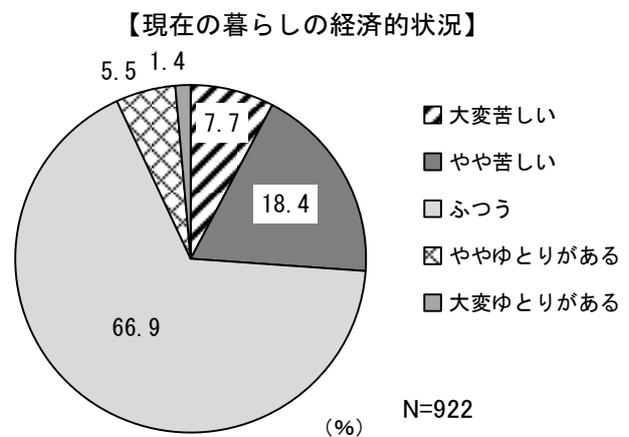
- 現在何らかの介護を受けている人の主な介護・介助者は、「配偶者(夫・妻)」(41.7%)が最も高く、次いで「娘」(27.1%)、「介護サービスのヘルパー」(22.9%)、「息子」(16.7%)となっています。



## 2-5 現在の暮らしの経済的状況

問1(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

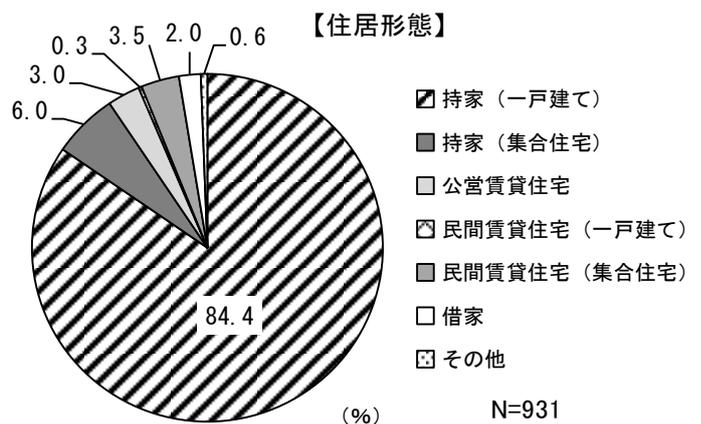
- 現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」(66.9%)が最も高く、『苦しい』(「大変苦しい」「やや苦しい」の計)は26.1%、『ゆとりがある』(「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」の計)は6.9%となっています。



## 2-6 住居形態

問1(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- 住居形態は、「持家(一戸建て)」が84.4%となっています。



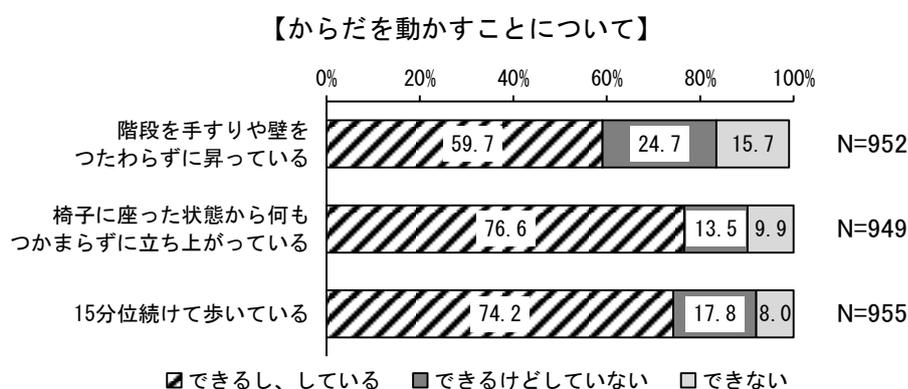
### 3 からだを動かすことについて

#### 3-1 からだを動かすことについて

問2 からだを動かすことについて

- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
- (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
- (3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

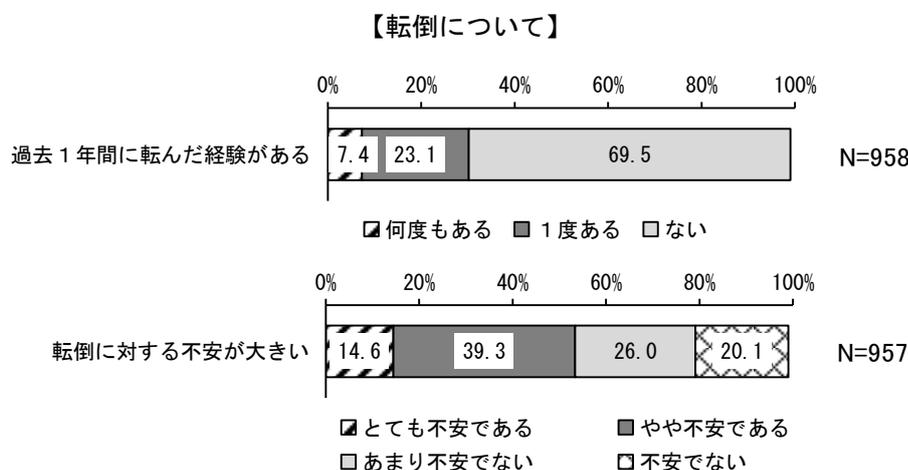
- からだを動かすことについて「できない」と回答した人は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」で15.7%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」で9.9%、「15分位続けて歩いている」で8.0%となっています。



#### 3-2 転倒について

- 問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)  
 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

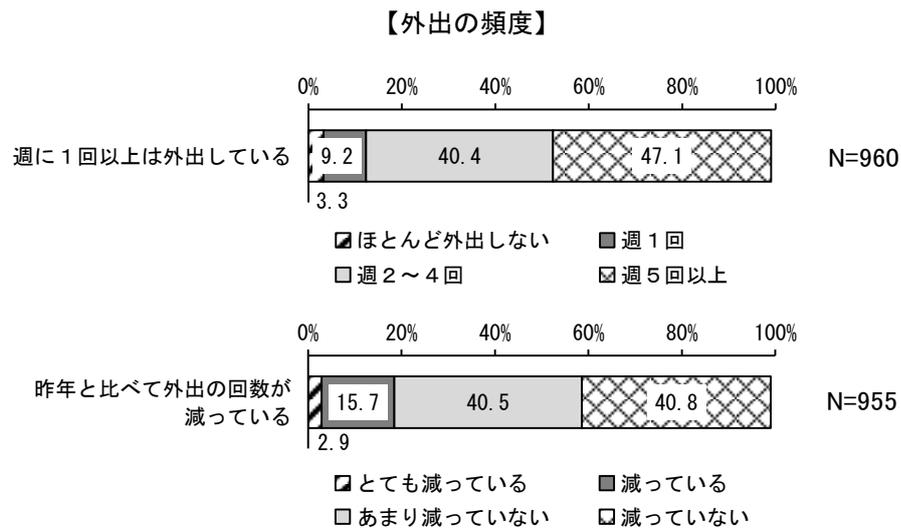
- 過去1年間に転んだ経験については、『ある』（「何度もある」「1度ある」の計）が30.5%となっています。また、転倒に対する不安については、『不安である』（「とても不安である」「やや不安である」の計）が53.9%となっています。



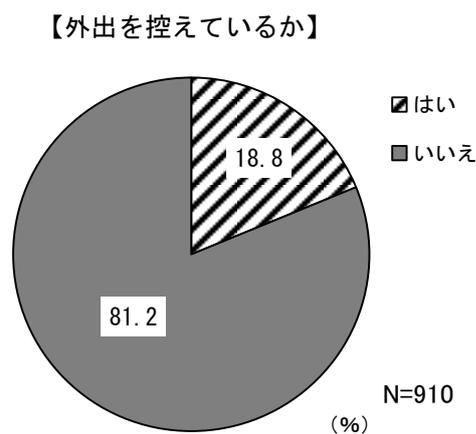
### 3-3 外出について

- 問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)  
 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)  
 (8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

- 外出の頻度については、『週1回以上外出していない』（「ほとんど外出しない」「週1回」の計）が12.5%となっています。また、昨年と比べて外出の回数については、『減っている』（「とても減っている」「減っている」の計）が18.6%となっています。



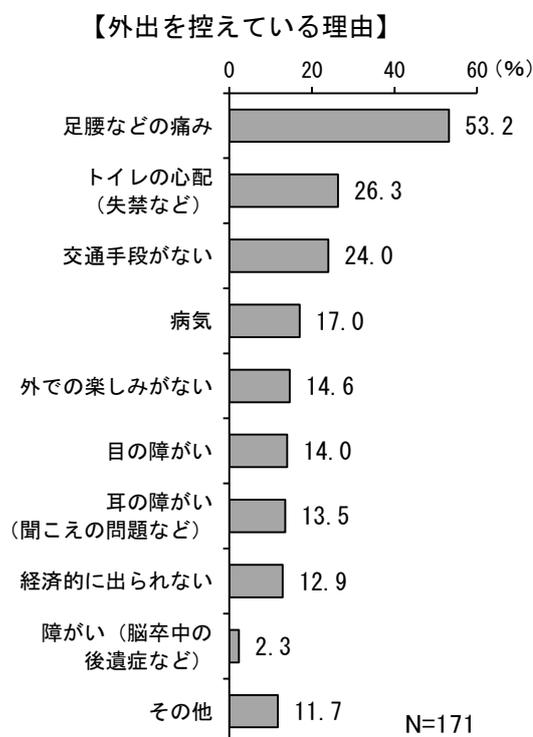
- 外出を控えているかどうかについて、「はい」は18.8%となっています。



(問2(8)で「1 はい(外出を控えている)」を選んだ方に)

問2(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

- 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が53.2%で最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」(26.3%)、「交通手段がない」(24.0%)、「病気」(17.0%)、「外での楽しみがない」(14.6%)となっています。
- 前回調査と比べると、「トイレの心配」が12.7ポイント、「交通手段がない」が7.4ポイント、それぞれ増加しています。



問2(8)① 外出を控えている理由

	件数	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	交通手段がない	病気	外での楽しみがない	目の障がい	耳の障がい(聞こえの問題など)	経済的に出られない	後遺症など(脳卒中の)	障がい	その他
今回調査 (R1)	171	53.2	26.3	24.0	17.0	14.6	14.0	13.5	12.9	2.3	11.7	
前回調査 (H29)	169	52.1	13.6	16.6	17.2	15.4	11.8	8.9	14.8	4.1	8.3	

- 外出を控えている理由について、性・年齢別でみると、「足腰などの痛み」は75歳以上の女性で、「トイレの心配」は85歳以上の女性で、「交通手段がない」は75～84歳の女性で、「外での楽しみがない」は75～84歳の男性で、「耳の障がい（聞こえの問題など）」は85歳以上の男性で、「経済的に出られない」は65～74歳の女性で、それぞれ割合が全体より10ポイント以上高くなっています。
- 世帯状況別でみると、「トイレの心配」は息子・娘との2世帯（40.6%）で割合が高くなっています。
- 認定状況別でみると、要支援2では「トイレの心配」「交通手段がない」「病気」「耳の障がい」などで割合が高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、「交通手段がない」は、暁・神守（27.5%）で割合が高くなっています。

問2（8）① 外出を控えている理由

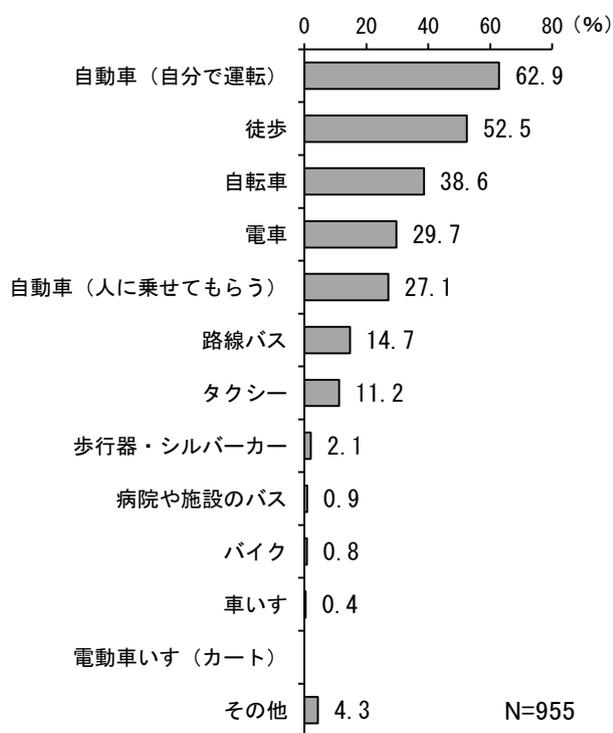
		件数	足腰などの痛み	（トイレの心配） （失禁など）	交通手段がない	病気	外での楽しみがない	目の障がい	（聞こえの問題など） 耳の障がい	経済的に出られない	の障がい（脳卒中など）	その他	
全体		171 100.0	91 53.2	45 26.3	41 24.0	29 17.0	25 14.6	24 14.0	23 13.5	22 12.9	4 2.3	20 11.7	
性・年齢別	男性	65～74歳	27 100.0	13 48.1	9 33.3	- -	5 18.5	4 14.8	4 14.8	2 7.4	5 18.5	- -	3 11.1
		75～84歳	43 100.0	18 41.9	12 27.9	10 23.3	11 25.6	11 25.6	5 11.6	3 7.0	8 18.6	2 4.7	5 11.6
		85歳以上	16 100.0	7 43.8	5 31.3	4 25.0	2 12.5	2 12.5	3 18.8	6 37.5	- -	- -	1 6.3
	女性	65～74歳	21 100.0	10 47.6	2 9.5	3 14.3	3 14.3	4 19.0	1 4.8	1 4.8	6 28.6	1 4.8	5 23.8
		75～84歳	38 100.0	25 65.8	6 15.8	17 44.7	3 7.9	1 2.6	5 13.2	5 13.2	3 7.9	1 2.6	4 10.5
		85歳以上	26 100.0	18 69.2	11 42.3	7 26.9	5 19.2	3 11.5	6 23.1	6 23.1	- -	- -	2 7.7
世帯状況別	1人暮らし	44 100.0	26 59.1	8 18.2	12 27.3	5 11.4	5 11.4	6 13.6	4 9.1	3 6.8	- -	5 11.4	
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	57 100.0	28 49.1	17 29.8	13 22.8	12 21.1	11 19.3	9 15.8	3 5.3	10 17.5	1 1.8	10 17.5	
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	4 100.0	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 50.0	
	息子・娘との2世帯	32 100.0	18 56.3	13 40.6	7 21.9	5 15.6	5 15.6	8 25.0	8 25.0	5 15.6	1 3.1	- -	
	その他	31 100.0	15 48.4	6 19.4	6 19.4	5 16.1	4 12.9	1 3.2	7 22.6	4 12.9	2 6.5	3 9.7	
認定状況別	要支援1	5 100.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	- -	1 20.0	- -	- -	
	要支援2	22 100.0	13 59.1	8 36.4	8 36.4	6 27.3	2 9.1	1 4.5	6 27.3	2 9.1	- -	- -	
	事業対象者	7 100.0	6 85.7	1 14.3	3 42.9	- -	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	
	認定なし	137 100.0	68 49.6	35 25.5	29 21.2	21 15.3	22 16.1	21 15.3	17 12.4	18 13.1	4 2.9	20 14.6	
圏域別	暁・神守	102 100.0	52 51.0	31 30.4	28 27.5	17 16.7	14 13.7	12 11.8	10 9.8	13 12.7	- -	17 16.7	
	天王・藤浪	69 100.0	39 56.5	14 20.3	13 18.8	12 17.4	11 15.9	12 17.4	13 18.8	9 13.0	4 5.8	3 4.3	

問2 (9) 外出する際の移動手段はなんですか。(〇はいくつでも)

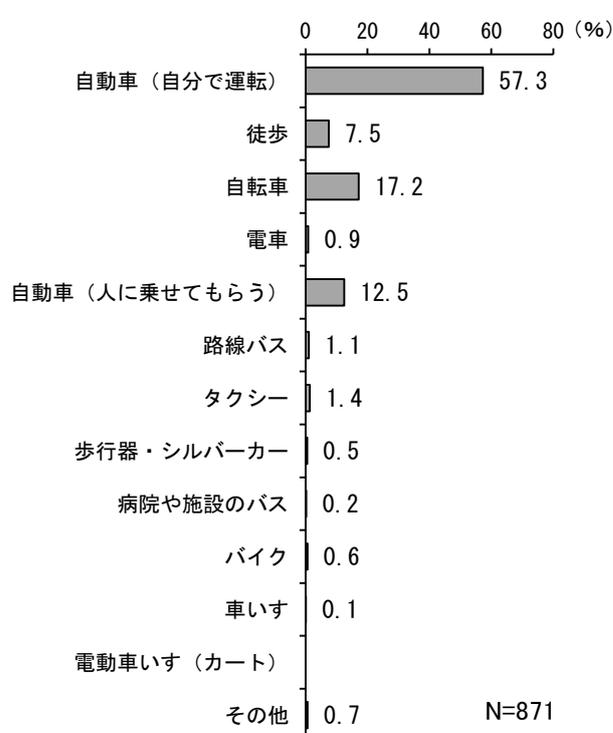
(10) 上記(9)で回答された移動手段の中で、最もご利用される移動手段はなんですか。(〇は1つ)

- 外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」(62.9%)が最も高く、次いで「徒歩」(52.5%)、「自転車」(38.6%)、「電車」(29.7%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(27.1%)となっています。
- 上記の移動手段の中で最も利用する手段は、「自動車(自分で運転)」(57.3%)が最も高く、次いで「自転車」(17.2%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(12.5%)、「徒歩」(7.5%)、「タクシー」(1.4%)となっています。

【外出する際の移動手段】



【最も利用する移動手段】



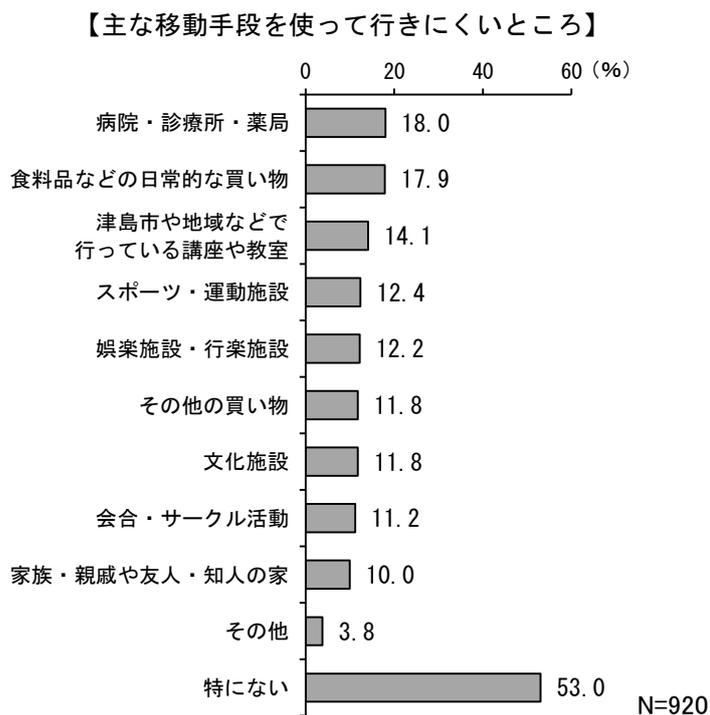
- 外出する際の移動手段について性・年齢別でみると、「自動車（自分で運転）」は65～84歳の男性で高く、「自動車（人に乗せてもらう）」は女性全体で高くなっています。また、「タクシー」「歩行器・シルバーカー」は85歳以上の男性・女性で高くなっています。
- 世帯状況別でみると、「自動車（自分で運転）」「徒歩」「電車」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で高くなっています。
- 認定状況別でみると、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」「歩行器・シルバーカー」「病院や施設のバス」は要支援者及び事業対象者で高くなっています。また、「路線バス」は事業対象者（45.5%）で特に高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、「徒歩」「自転車」「電車」は天王・藤浪で高くなっています。

問2（9） 外出する際の移動手段

		件数	運自動車 (自分で)	徒歩	自転車	電車	せ自動車 (人に乗)	路線バス	タクシー	歩行器・ シルバー カー	病院や 施設のバ ス	バイク	車いす	電動 車いす (カート)	その他	
全体		955 100.0	601 62.9	501 52.5	369 38.6	284 29.7	259 27.1	140 14.7	107 11.2	20 2.1	9 0.9	8 0.8	4 0.4	- -	41 4.3	
性・ 年齢別	男性	65～74歳	245 100.0	222 90.6	130 53.1	87 35.5	86 35.1	23 9.4	32 13.1	14 5.7	- -	2 0.8	3 1.2	- -	4 1.6	
		75～84歳	209 100.0	163 78.0	113 54.1	79 37.8	66 31.6	32 15.3	37 17.7	19 9.1	- -	2 1.0	1 0.5	- -	8 3.8	
		85歳以上	36 100.0	14 38.9	17 47.2	16 44.4	5 13.9	9 25.0	6 16.7	9 25.0	3 8.3	1 2.8	1 2.8	- -	- -	2 5.6
	女性	65～74歳	236 100.0	145 61.4	120 50.8	100 42.4	74 31.4	90 38.1	26 11.0	21 8.9	1 0.4	- -	3 1.3	- -	- -	9 3.8
		75～84歳	186 100.0	54 29.0	104 55.9	77 41.4	49 26.3	82 44.1	30 16.1	34 18.3	8 4.3	5 2.7	1 0.5	- -	- -	13 7.0
		85歳以上	43 100.0	3 7.0	17 39.5	10 23.3	4 9.3	23 53.5	9 20.9	10 23.3	8 18.6	1 2.3	- -	1 2.3	- -	5 11.6
世帯 状況別	1人暮らし	177 100.0	84 47.5	86 48.6	65 36.7	50 28.2	38 21.5	26 14.7	34 19.2	8 4.5	4 2.3	4 2.3	- -	- -	11 6.2	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	369 100.0	260 70.5	209 56.6	158 42.8	123 33.3	99 26.8	57 15.4	33 8.9	4 1.1	3 0.8	3 0.8	4 1.1	- -	11 3.0	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	33 100.0	30 90.9	21 63.6	6 18.2	14 42.4	5 15.2	5 15.2	4 12.1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	息子・娘との2世帯	215 100.0	128 59.5	115 53.5	92 42.8	56 26.0	74 34.4	34 15.8	18 8.4	2 0.9	1 0.5	1 0.5	- -	- -	13 6.0	
	その他	143 100.0	90 62.9	63 44.1	41 28.7	39 27.3	38 26.6	17 11.9	15 10.5	5 3.5	1 0.7	- -	- -	- -	6 4.2	
認定 状況別	要支援1	14 100.0	5 35.7	7 50.0	4 28.6	3 21.4	5 35.7	2 14.3	6 42.9	2 14.3	1 7.1	- -	- -	- -	1 7.1	
	要支援2	33 100.0	5 15.2	9 27.3	8 24.2	2 6.1	19 57.6	1 3.0	11 33.3	10 30.3	4 12.1	1 3.0	1 3.0	- -	3 9.1	
	事業対象者	11 100.0	3 27.3	6 54.5	1 9.1	1 9.1	6 54.5	5 45.5	6 54.5	1 9.1	2 18.2	- -	- -	- -	1 9.1	
	認定なし	897 100.0	588 65.6	479 53.4	356 39.7	278 31.0	229 25.5	132 14.7	84 9.4	7 0.8	2 0.2	7 0.8	3 0.3	- -	36 4.0	
圏域 別	暁・神守	550 100.0	368 66.9	253 46.0	185 33.6	128 23.3	166 30.2	92 16.7	49 8.9	12 2.2	3 0.5	5 0.9	1 0.2	- -	18 3.3	
	天王・藤浪	405 100.0	233 57.5	248 61.2	184 45.4	156 38.5	93 23.0	48 11.9	58 14.3	8 2.0	6 1.5	3 0.7	3 0.7	- -	23 5.7	

問2 (11) 市内や近隣市町村で、主な移動手段を使って行きにくいところはどちらですか。  
(〇はいくつでも)

- 市内や近隣市町村で主な移動手段を使って行きにくいところは、「特にない」が53.0%で最も高く、具体的な項目では、「病院・診療所・薬局」(18.0%)、「食料品などの日常的な買い物」(17.9%)、「津島市や地域などで行っている講座や教室」(14.1%)、「スポーツ・運動施設」(12.4%)、「娯楽施設・行楽施設」(12.2%)の順で高くなっています。



- 市内や近隣市町村で主な移動手段を使って行きにくいところについて性・年齢別でみると、「特にない」は65～74歳の男性（66.7%）で高く、85歳以上の男性（29.4%）と75歳以上の女性で低くなっており、高齢になるほど行きにくいところが多いことを示しています。具体的な場所では、「病院・診療所・薬局」「食料品などの日常的な買い物」は85歳以上の男性・女性で、「娯楽施設・行楽施設」は85歳以上の男性（23.5%）でそれぞれ高くなっています。
- 家族構成別でみると、「特にない」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）（67.6%）で高く、1人暮らし（43.8%）で低くなっています。
- 認定状況別でみると、「特にない」は要支援1・2で2割未満、事業対象者で回答なしと低くなっており、要支援者及び事業対象者で行きにくい場所が多くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、大きな差はみられませんでした。

問2（11） 市内や近隣市町村で主な移動手段を使って行きにくいところ

		件数	薬局・診療所・	常食料品などの日	講座や教室	津島市や地域のな	施設スポーツ・運動	施設・行楽	その他の買い物	文化施設	会合・サークル	人家・知人の家や友	その他	特にない
全体		920	166	165	130	114	112	109	109	103	92	35	488	
		100.0	18.0	17.9	14.1	12.4	12.2	11.8	11.8	11.2	10.0	3.8	53.0	
性・年齢別	男性	65～74歳	240	27	29	23	26	24	16	18	19	11	10	160
			100.0	11.3	12.1	9.6	10.8	10.0	6.7	7.5	7.9	4.6	4.2	66.7
		75～84歳	205	40	39	26	24	25	20	25	25	15	4	114
		100.0	19.5	19.0	12.7	11.7	12.2	9.8	12.2	12.2	7.3	2.0	55.6	
		85歳以上	34	13	11	6	6	8	7	5	5	6	1	10
		100.0	38.2	32.4	17.6	17.6	23.5	20.6	14.7	14.7	17.6	2.9	29.4	
女性	65～74歳	229	26	26	29	24	21	28	26	22	25	9	133	
		100.0	11.4	11.4	12.7	10.5	9.2	12.2	11.4	9.6	10.9	3.9	58.1	
	75～84歳	169	47	45	38	28	28	31	29	24	29	8	57	
	100.0	27.8	26.6	22.5	16.6	16.6	18.3	17.2	14.2	17.2	4.7	33.7		
	85歳以上	43	13	15	8	6	6	7	6	8	6	3	14	
	100.0	30.2	34.9	18.6	14.0	14.0	16.3	14.0	18.6	14.0	7.0	32.6		
世帯状況別	1人暮らし	169	40	43	25	23	23	21	16	21	24	6	74	
		100.0	23.7	25.4	14.8	13.6	13.6	12.4	9.5	12.4	14.2	3.6	43.8	
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	361	63	58	54	47	42	43	45	44	41	11	205	
		100.0	17.5	16.1	15.0	13.0	11.6	11.9	12.5	12.2	11.4	3.0	56.8	
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	34	1	4	2	4	3	2	2	2	2	4	23	
	100.0	2.9	11.8	5.9	11.8	8.8	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	67.6		
	息子・娘との2世帯	205	32	35	29	24	29	21	25	23	14	9	107	
	100.0	15.6	17.1	14.1	11.7	14.1	10.2	12.2	11.2	6.8	4.4	52.2		
	その他	136	28	20	19	13	13	21	19	13	10	5	71	
	100.0	20.6	14.7	14.0	9.6	9.6	15.4	14.0	9.6	7.4	3.7	52.2		
認定状況別	要支援1	12	5	8	4	3	6	4	4	5	4	1	2	
		100.0	41.7	66.7	33.3	25.0	50.0	33.3	33.3	41.7	33.3	8.3	16.7	
	要支援2	33	19	14	8	4	4	11	6	8	9	3	5	
		100.0	57.6	42.4	24.2	12.1	12.1	33.3	18.2	24.2	27.3	9.1	15.2	
	事業対象者	10	5	5	5	3	4	4	3	3	3	1	-	
	100.0	50.0	50.0	50.0	30.0	40.0	40.0	30.0	30.0	30.0	10.0	-		
	認定なし	865	137	138	113	104	98	90	96	87	76	30	481	
	100.0	15.8	16.0	13.1	12.0	11.3	10.4	11.1	10.1	8.8	3.5	55.6		
圏域別	暁・神守	528	88	104	73	72	65	61	66	57	52	19	283	
		100.0	16.7	19.7	13.8	13.6	12.3	11.6	12.5	10.8	9.8	3.6	53.6	
	天王・藤浪	392	78	61	57	42	47	48	43	46	40	16	205	
	100.0	19.9	15.6	14.5	10.7	12.0	12.2	11.0	11.7	10.2	4.1	52.3		

## 4 食べることについて

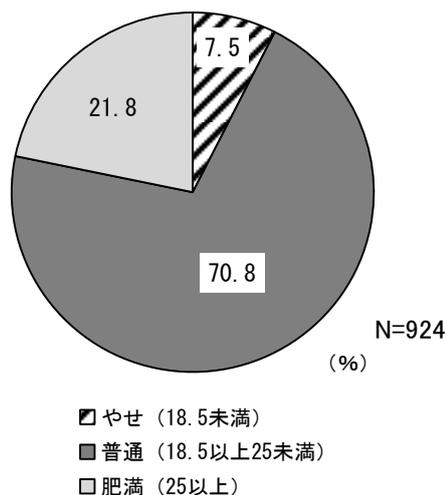
### 4-1 身体の状態について

#### 問3 食べることについて

- (1) 身長・体重について、数字を右詰でご記入ください。(数字を記入)  
(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

- 身長と体重からBMI値<sup>\*</sup>を計算すると、「やせ」の状態であるBMI = 18.5未満の人は7.5%となっています。また、「肥満」の状態であるBMI = 25以上の人は21.8%となっています。

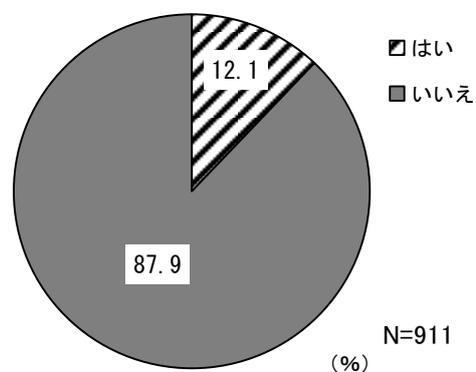
【BMI値による肥満度判定】



※BMI (Body Mass Index) は、体重 kg / (身長×身長) m で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会では18.5未満をやせすぎ、25.0以上を肥満としています。

- 「6か月間で2～3kg以上の体重減少があった」で「はい」は12.1%となっています。

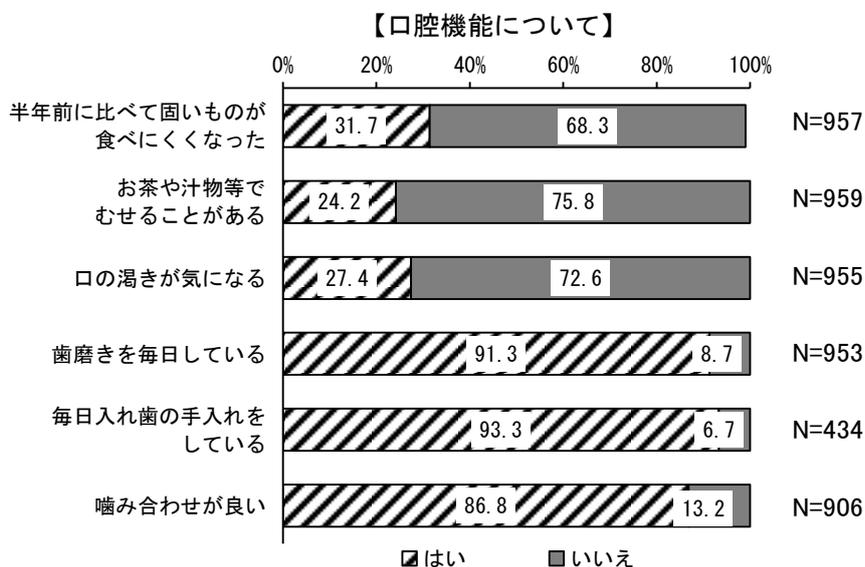
【6か月以内の2～3kg以上の体重減少】



### 4-2 口腔機能について

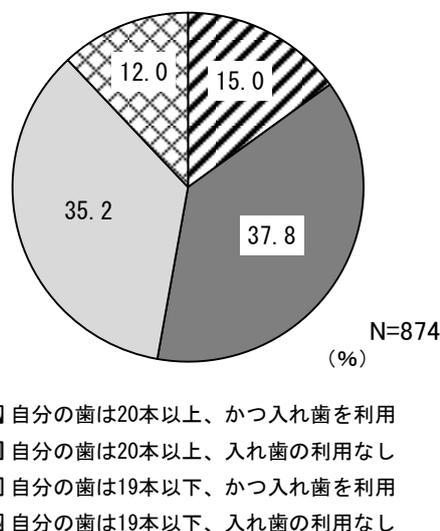
- 問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)  
 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)  
 (4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)  
 (5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)  
 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)  
 (問3(6)で「1」または「3」を選んだ方に)  
 (6)-① 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)  
 (7) 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

● 口腔機能について、「はい」は「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」で31.7%、「お茶や汁物等でむせることがある」で24.2%、「口の渇きが気になる」で27.4%となっています。



● 歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.8%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.0%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.0%となっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】

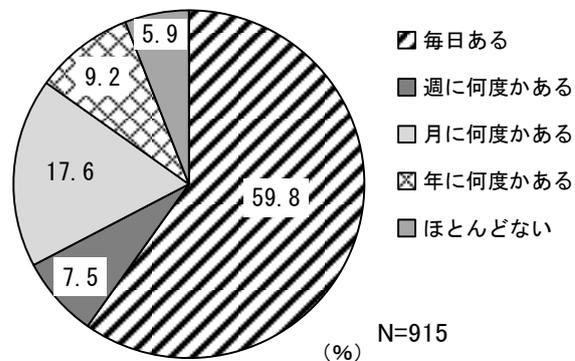


### 4-3 食事の状況

問3(9) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

- 誰かと一緒に食事をする機会は、「毎日ある」が59.8%を占めており、「ほとんどない」は5.9%となっています。

【誰かと一緒に食事をする機会】



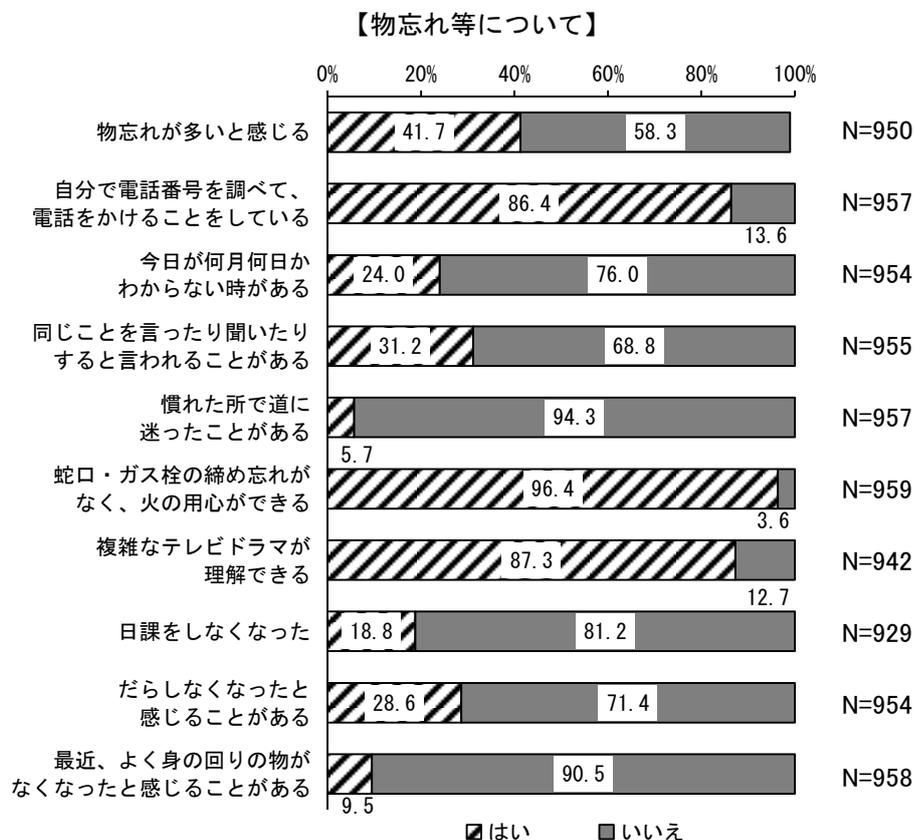
## 5 毎日の生活について

### 5-1 物忘れ等について

#### 問4 毎日の生活について

- (1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)
- (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)
- (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)
- (4) 同じことを言ったり聞いたりするとと言われることがありますか。(○は1つ)
- (6) 慣れた所で道に迷ったことがありますか。(○は1つ)
- (9) 蛇口・ガス栓の締め忘れがなく、火の用心ができますか。(○は1つ)
- (15) 複雑なテレビドラマが理解できますか。(○は1つ)
- (21) 日課をしなくなりましたか。(○は1つ)
- (22) だらしなくなつたと感じる場合がありますか。(○は1つ)
- (24) 最近、よく身の回りの物がなくなつたと感じる場合がありますか。(○は1つ)

- 物忘れ等に関する問いについて、「はい」は「物忘れが多いと感じる」で41.7%、「同じことを言ったり聞いたりするとと言われることがある」で31.2%、「だらしなくなつたと感じる場合があります」で28.6%、「今日が何月何日かわからない時がある」で24.0%、「日課をしなくなつた」で18.8%などとなっています。
- 「いいえ」は「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている」で13.6%、「複雑なテレビドラマが理解できる」で12.7%などとなっています。

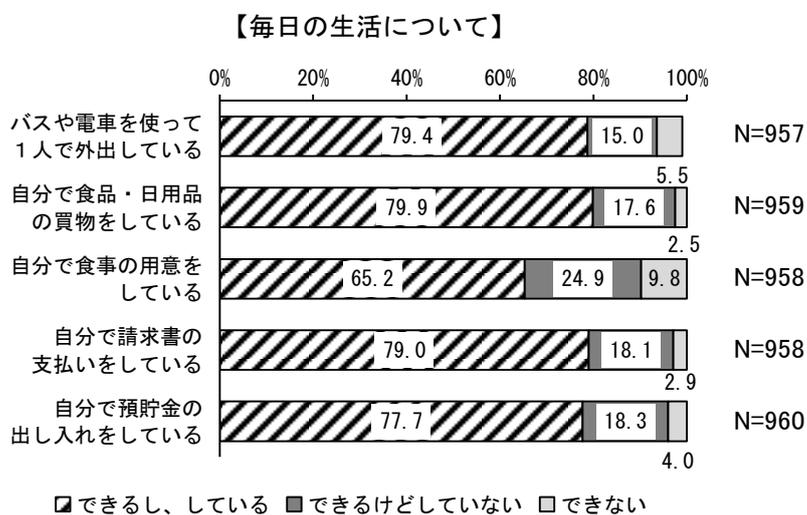


## 5-2 毎日の生活について

### 問4 毎日の生活について

- (5) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）
- (7) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ）
- (8) 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）
- (10) 自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）
- (11) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）

- 毎日の生活の状況についてたずねたところ、『していない』（「できない」「できるだけしていない」の計）は、「自分で食事の用意をしている」で34.7%と高く、次いで「自分で預貯金の出し入れをしている」で22.3%となっています。

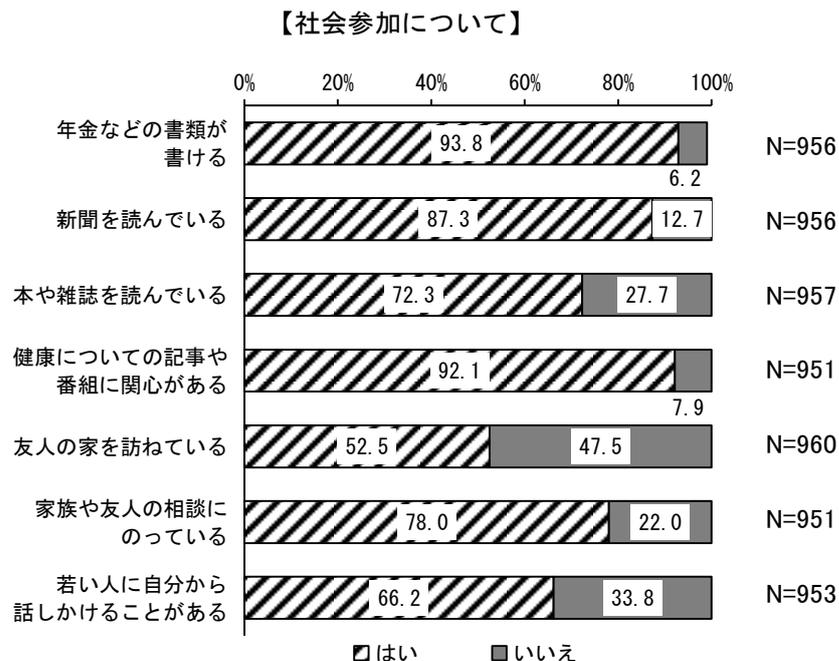


5-3 社会参加について

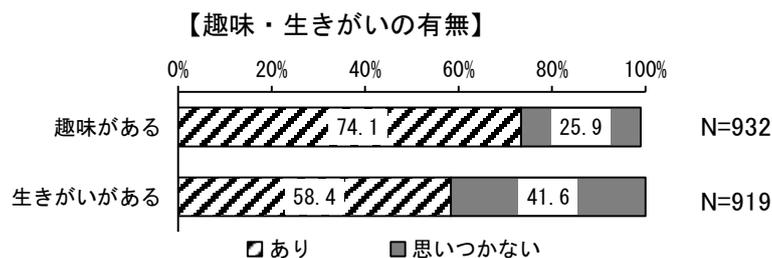
問4 毎日の生活について

- (12) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）
- (13) 新聞を読んでいますか。（○は1つ）
- (14) 本や雑誌を読んでいますか。（○は1つ）
- (16) 健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ）
- (17) 友人の家を訪ねていますか。（○は1つ）
- (18) 家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ）
- (19) 趣味はありますか。（○は1つ）
- (20) 生きがいはありますか。（○は1つ）
- (23) 若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は1つ）

● 社会参加に関わる項目についてみると、「いいえ」は、「友人の家を訪ねている」で47.5%、「若い人に自分から話しかけることがある」で33.8%、「本や雑誌を読んでいる」で27.7%、「家族や友人の相談にのっている」で22.0%となっています。



● 趣味については、「趣味あり」が74.1%で、「思いつかない」が25.9%となっています。また、生きがいについては、「生きがいあり」が58.4%で、「思いつかない」が41.6%となっています。

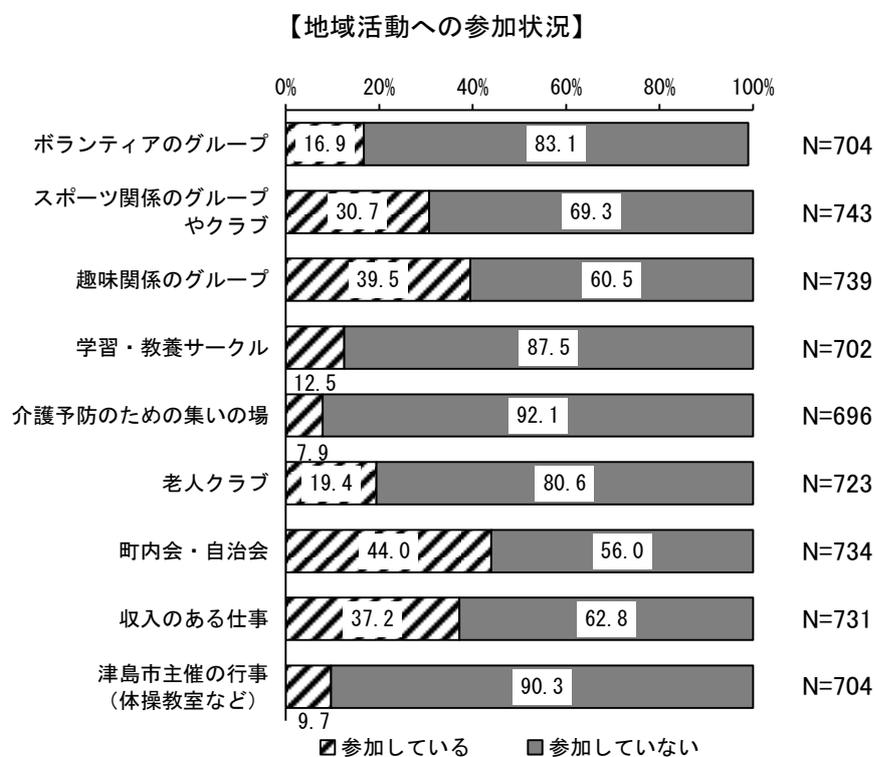


## 6 地域での活動について

### 6-1 地域活動への参加状況

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つずつ)

- 地域活動への参加状況についてみると、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の計）は、「町内会・自治会」（44.0%）、「趣味関係のグループ」（39.5%）、「収入のある仕事」（37.2%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（30.7%）で3割以上と高く、「津島市主催の行事（体操教室など）」（9.7%）、「介護予防のための集いの場」（7.9%）で1割未満となっています。



- 性・年齢別でみると、「スポーツ関係のグループやクラブ」は85歳以上の男性(42.9%)で、「趣味関係のグループ」「津島市主催の行事」は75～84歳の女性で、「介護予防のための集いの場」は75歳以上の女性で、「老人クラブ」は75～84歳の男性(32.5%)で、「収入のある仕事」は65～74歳の男性(52.3%)でそれぞれ参加率が最も高くなっています。
- 世帯状況別でみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)は「収入のある仕事」への参加率(64.5%)が高く、その他の活動への参加率が低くなっています。
- 認定状況別でみると、要支援者及び事業対象者は「収入のある仕事」への参加率は低く、「介護予防のための集いの場」への参加率は高くなっています。また、事業対象者は「趣味関係のグループ」「津島市主催の行事」への参加率も高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、「老人クラブ」への参加率は暁・神守で高くなっています。

		①ボランティアのグループ			②スポーツ関係のグループやクラブ			③趣味関係のグループ			④学習・教養サークル			⑤介護予防のための集いの場			
		件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	
全体		704	119	585	743	228	515	739	292	447	702	88	614	696	55	641	
		100.0	16.9	83.1	100.0	30.7	69.3	100.0	39.5	60.5	100.0	12.5	87.5	100.0	7.9	92.1	
性・年齢別	男性	65～74歳	209	36	173	212	57	155	214	69	145	209	17	192	208	7	201
			100.0	17.2	82.8	100.0	26.9	73.1	100.0	32.2	67.8	100.0	8.1	91.9	100.0	3.4	96.6
		75～84歳	144	27	117	159	54	105	153	73	80	144	15	129	144	8	136
		100.0	18.8	81.3	100.0	34.0	66.0	100.0	47.7	52.3	100.0	10.4	89.6	100.0	5.6	94.4	
	85歳以上	18	3	15	21	9	12	19	5	14	17	1	16	16	1	15	
		100.0	16.7	83.3	100.0	42.9	57.1	100.0	26.3	73.7	100.0	5.9	94.1	100.0	6.3	93.8	
女性	65～74歳	202	29	173	212	70	142	209	77	132	201	35	166	197	14	183	
		100.0	14.4	85.6	100.0	33.0	67.0	100.0	36.8	63.2	100.0	17.4	82.6	100.0	7.1	92.9	
	75～84歳	107	21	86	115	34	81	118	59	59	108	16	92	105	20	85	
	100.0	19.6	80.4	100.0	29.6	70.4	100.0	50.0	50.0	100.0	14.8	85.2	100.0	19.0	81.0		
85歳以上	24	3	21	24	4	20	26	9	17	23	4	19	26	5	21		
	100.0	12.5	87.5	100.0	16.7	83.3	100.0	34.6	65.4	100.0	17.4	82.6	100.0	19.2	80.8		
世帯状況別	1人暮らし	116	12	104	124	39	85	123	45	78	119	15	104	116	13	103	
		100.0	10.3	89.7	100.0	31.5	68.5	100.0	36.6	63.4	100.0	12.6	87.4	100.0	11.2	88.8	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	284	52	232	303	110	193	295	125	170	283	43	240	279	23	256	
		100.0	18.3	81.7	100.0	36.3	63.7	100.0	42.4	57.6	100.0	15.2	84.8	100.0	8.2	91.8	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	29	3	26	28	4	24	28	5	23	28	1	27	28	1	27	
	100.0	10.3	89.7	100.0	14.3	85.7	100.0	17.9	82.1	100.0	3.6	96.4	100.0	3.6	96.4		
息子・娘との2世帯	154	28	126	165	45	120	166	66	100	154	19	135	153	11	142		
	100.0	18.2	81.8	100.0	27.3	72.7	100.0	39.8	60.2	100.0	12.3	87.7	100.0	7.2	92.8		
その他	114	22	92	116	29	87	119	47	72	111	10	101	113	5	108		
	100.0	19.3	80.7	100.0	25.0	75.0	100.0	39.5	60.5	100.0	9.0	91.0	100.0	4.4	95.6		
認定状況別	要支援1	9	2	7	8	2	6	8	2	6	7	-	7	7	1	6	
		100.0	22.2	77.8	100.0	25.0	75.0	100.0	25.0	75.0	100.0	-	100.0	100.0	14.3	85.7	
	要支援2	20	-	20	21	3	18	20	2	18	20	2	18	21	3	18	
		100.0	-	100.0	100.0	14.3	85.7	100.0	10.0	90.0	100.0	10.0	90.0	100.0	14.3	85.7	
事業対象者	8	-	8	8	1	7	9	5	4	9	1	8	8	4	4		
	100.0	-	100.0	100.0	12.5	87.5	100.0	55.6	44.4	100.0	11.1	88.9	100.0	50.0	50.0		
認定なし	667	117	550	706	222	484	702	283	419	666	85	581	660	47	613		
	100.0	17.5	82.5	100.0	31.4	68.6	100.0	40.3	59.7	100.0	12.8	87.2	100.0	7.1	92.9		
圏域別	暁・神守	397	54	343	425	134	291	418	176	242	397	50	347	396	40	356	
		100.0	13.6	86.4	100.0	31.5	68.5	100.0	42.1	57.9	100.0	12.6	87.4	100.0	10.1	89.9	
天王・藤浪	307	65	242	318	94	224	321	116	205	305	38	267	300	15	285		
	100.0	21.2	78.8	100.0	29.6	70.4	100.0	36.1	63.9	100.0	12.5	87.5	100.0	5.0	95.0		

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

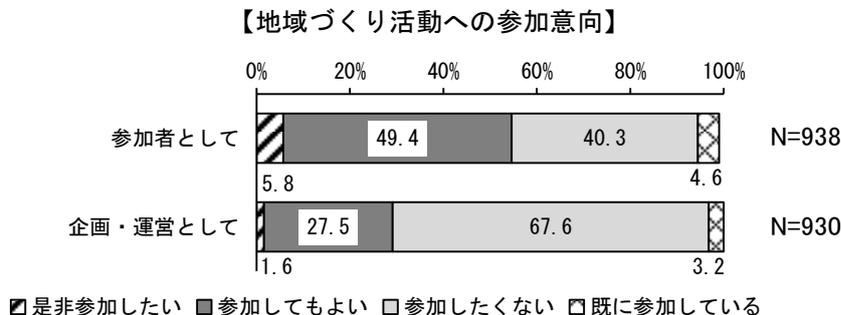
		⑥老人クラブ			⑦町内会・自治会			⑧収入のある仕事			⑨津島市主催の行事			
		件数	参加している	参加していない										
全体		723 100.0	140 19.4	583 80.6	734 100.0	323 44.0	411 56.0	731 100.0	272 37.2	459 62.8	704 100.0	68 9.7	636 90.3	
性・年齢別	男性	65～74歳	209 100.0	22 10.5	187 89.5	211 100.0	98 46.4	113 53.6	216 100.0	113 52.3	103 47.7	208 100.0	12 5.8	196 94.2
		75～84歳	157 100.0	51 32.5	106 67.5	161 100.0	82 50.9	79 49.1	149 100.0	45 30.2	104 69.8	144 100.0	14 9.7	130 90.3
		85歳以上	19 100.0	5 26.3	14 73.7	19 100.0	7 36.8	12 63.2	18 100.0	- -	18 100.0	18 100.0	2 11.1	16 88.9
	女性	65～74歳	202 100.0	26 12.9	176 87.1	204 100.0	79 38.7	125 61.3	211 100.0	88 41.7	123 58.3	198 100.0	12 6.1	186 93.9
		75～84歳	110 100.0	29 26.4	81 73.6	114 100.0	50 43.9	64 56.1	114 100.0	26 22.8	88 77.2	113 100.0	24 21.2	89 78.8
		85歳以上	26 100.0	7 26.9	19 73.1	25 100.0	7 28.0	18 72.0	23 100.0	- -	23 100.0	23 100.0	4 17.4	19 82.6
世帯状況別	1人暮らし	120 100.0	29 24.2	91 75.8	121 100.0	50 41.3	71 58.7	121 100.0	35 28.9	86 71.1	120 100.0	22 18.3	98 81.7	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	287 100.0	58 20.2	229 79.8	293 100.0	135 46.1	158 53.9	295 100.0	106 35.9	189 64.1	285 100.0	26 9.1	259 90.9	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	28 100.0	1 3.6	27 96.4	28 100.0	8 28.6	20 71.4	31 100.0	20 64.5	11 35.5	28 100.0	1 3.6	27 96.4	
	息子・娘との2世帯	164 100.0	33 20.1	131 79.9	164 100.0	78 47.6	86 52.4	159 100.0	60 37.7	99 62.3	153 100.0	11 7.2	142 92.8	
	その他	115 100.0	16 13.9	99 86.1	120 100.0	47 39.2	73 60.8	117 100.0	46 39.3	71 60.7	111 100.0	8 7.2	103 92.8	
認定状況別	要支援1	10 100.0	4 40.0	6 60.0	8 100.0	3 37.5	5 62.5	8 100.0	- -	8 100.0	8 100.0	- -	8 100.0	
	要支援2	19 100.0	2 10.5	17 89.5	22 100.0	3 13.6	19 86.4	21 100.0	1 4.8	20 95.2	20 100.0	1 5.0	19 95.0	
	事業対象者	10 100.0	4 40.0	6 60.0	10 100.0	4 40.0	6 60.0	8 100.0	- -	8 100.0	8 100.0	2 25.0	6 75.0	
	認定なし	684 100.0	130 19.0	554 81.0	694 100.0	313 45.1	381 54.9	694 100.0	271 39.0	423 61.0	668 100.0	65 9.7	603 90.3	
圏域別	暁・神守	415 100.0	98 23.6	317 76.4	424 100.0	202 47.6	222 52.4	419 100.0	169 40.3	250 59.7	396 100.0	35 8.8	361 91.2	
	天王・藤浪	308 100.0	42 13.6	266 86.4	310 100.0	121 39.0	189 61.0	312 100.0	103 33.0	209 67.0	308 100.0	33 10.7	275 89.3	

### 6-2 地域づくり活動への参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

- 参加者としての地域づくり活動への参加意向は、「参加してもよい」が49.4%で最も高く、次いで「参加したくない」が40.3%、「是非参加したい」が5.8%、「既に参加している」が4.6%となっています。
- 企画・運営(お世話役)としての地域づくり活動への参加意向は、「参加したくない」が67.6%で最も高く、次いで「参加してもよい」が27.5%、「既に参加している」が3.2%、「是非参加したい」が1.6%となっています。
- 前回調査と比べると、参加者として「参加したくない」は5.5ポイント、企画・運営として「参加したくない」は2.3ポイント、それぞれ増加しています。



	問5(2) 地域づくり活動への参加意向【参加者として】					問5(3) 【企画・運営として】				
	件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している
今回調査 (R1)	938	5.8	49.4	40.3	4.6	930	1.6	27.5	67.6	3.2
前回調査 (H29)	948	9.9	55.3	34.8		946	2.6	32.0	65.3	

- 性・年齢別で見ると、「参加したくない」は85歳以上の男性・女性で高くなっています。
- 世帯状況別で見ると、大きな差はみられませんでした。
- 日常生活圏域別で見ると、大きな差はみられませんでした。

		問5(2) 地域づくり活動への参加意向【参加者として】					問(3) 【企画・運営として】					
		件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	
全体		938 100.0	54 5.8	463 49.4	378 40.3	43 4.6	930 100.0	15 1.6	256 27.5	629 67.6	30 3.2	
性・年齢別	男性	65～74歳	238 100.0	5 2.1	122 51.3	105 44.1	6 2.5	237 100.0	3 1.3	65 27.4	164 69.2	5 2.1
		75～84歳	210 100.0	9 4.3	108 51.4	82 39.0	11 5.2	209 100.0	3 1.4	57 27.3	143 68.4	6 2.9
		85歳以上	33 100.0	1 3.0	15 45.5	17 51.5	- -	32 100.0	- -	8 25.0	24 75.0	- -
	女性	65～74歳	239 100.0	15 6.3	129 54.0	84 35.1	11 4.6	236 100.0	7 3.0	69 29.2	153 64.8	7 3.0
		75～84歳	177 100.0	21 11.9	76 42.9	66 37.3	14 7.9	174 100.0	1 0.6	49 28.2	113 64.9	11 6.3
		85歳以上	41 100.0	3 7.3	13 31.7	24 58.5	1 2.4	42 100.0	1 2.4	8 19.0	32 76.2	1 2.4
世帯状況別	1人暮らし	171 100.0	14 8.2	84 49.1	66 38.6	7 4.1	168 100.0	3 1.8	56 33.3	106 63.1	3 1.8	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	369 100.0	22 6.0	177 48.0	147 39.8	23 6.2	369 100.0	5 1.4	93 25.2	252 68.3	19 5.1	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	34 100.0	- -	21 61.8	13 38.2	- -	34 100.0	- -	12 35.3	22 64.7	- -	
	息子・娘との2世帯	208 100.0	9 4.3	109 52.4	85 40.9	5 2.4	206 100.0	3 1.5	55 26.7	144 69.9	4 1.9	
	その他	138 100.0	9 6.5	62 44.9	60 43.5	7 5.1	137 100.0	4 2.9	32 23.4	97 70.8	4 2.9	
圏域別	暁・神守	541 100.0	27 5.0	273 50.5	219 40.5	22 4.1	537 100.0	11 2.0	144 26.8	365 68.0	17 3.2	
	天王・藤浪	397 100.0	27 6.8	190 47.9	159 40.1	21 5.3	393 100.0	4 1.0	112 28.5	264 67.2	13 3.3	

## 7 たすけあいについて

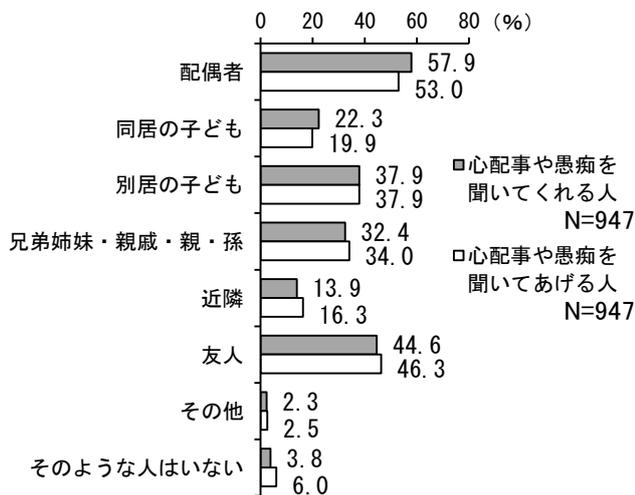
### 7-1 まわりの人とのたすけあいの状況

- 問6 (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人を教えてください。（○はいくつでも）
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人を教えてください。（○はいくつでも）
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。（○はいくつでも）
- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。（○はいくつでも）

- まわりの人との「たすけあい」の状況についてみると、「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」は、「配偶者」（57.9%）が最も高く、次いで「友人」（44.6%）が高くなっています。「心配事や愚痴を聞いてあげる人」についても「配偶者」（53.0%）が最も高く、次いで「友人」（46.3%）が高くなっています。
- 「病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」は、「配偶者」（63.6%）が最も高く、次いで「別居の子ども」（35.4%）が高くなっています。「看病や世話をしてあげる人」についても「配偶者」（63.7%）が最も高く、次いで「別居の子ども」（27.8%）が高くなっています。

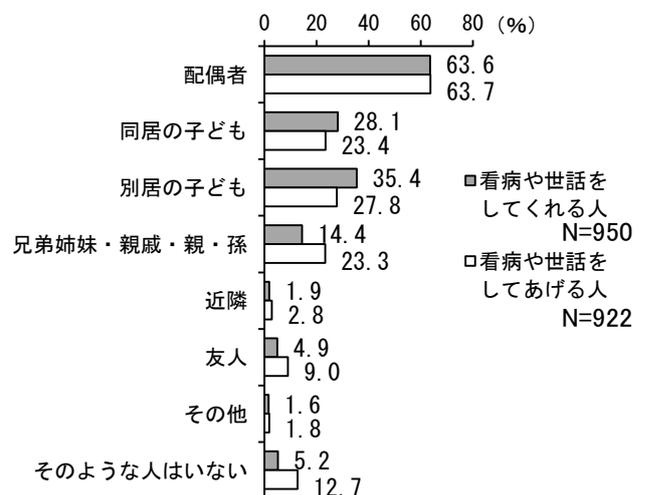
【(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人】

【(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



【(3) 看病や世話をしてくれる人】

【(4) 看病や世話をしてあげる人】



- 日常生活圏域別でみると、大きな差はみられませんでした。

問6(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

	件数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟・姉妹・孫・親	近隣	友人	その他	いそがないような人は	
全体	947 100.0	548 57.9	211 22.3	359 37.9	307 32.4	132 13.9	422 44.6	22 2.3	36 3.8	
圏域別	暁・神守	547 100.0	337 61.6	129 23.6	210 38.4	163 29.8	84 15.4	239 43.7	12 2.2	20 3.7
	天王・藤浪	400 100.0	211 52.8	82 20.5	149 37.3	144 36.0	48 12.0	183 45.8	10 2.5	16 4.0

問6(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

全体	947 100.0	502 53.0	188 19.9	359 37.9	322 34.0	154 16.3	438 46.3	24 2.5	57 6.0	
圏域別	暁・神守	549 100.0	309 56.3	115 20.9	215 39.2	171 31.1	96 17.5	247 45.0	15 2.7	33 6.0
	天王・藤浪	398 100.0	193 48.5	73 18.3	144 36.2	151 37.9	58 14.6	191 48.0	9 2.3	24 6.0

問6(3) 看病や世話をしてくれる人

全体	950 100.0	604 63.6	267 28.1	336 35.4	137 14.4	18 1.9	47 4.9	15 1.6	49 5.2	
圏域別	暁・神守	549 100.0	365 66.5	164 29.9	200 36.4	78 14.2	12 2.2	19 3.5	6 1.1	20 3.6
	天王・藤浪	401 100.0	239 59.6	103 25.7	136 33.9	59 14.7	6 1.5	28 7.0	9 2.2	29 7.2

問6(4) 看病や世話をしてあげる人

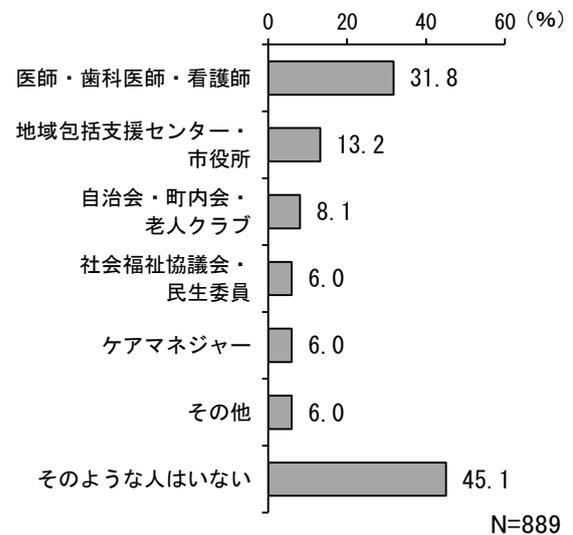
全体	922 100.0	587 63.7	216 23.4	256 27.8	215 23.3	26 2.8	83 9.0	17 1.8	117 12.7	
圏域別	暁・神守	535 100.0	356 66.5	133 24.9	153 28.6	113 21.1	17 3.2	41 7.7	10 1.9	70 13.1
	天王・藤浪	387 100.0	231 59.7	83 21.4	103 26.6	102 26.4	9 2.3	42 10.9	7 1.8	47 12.1

7-2 家族や友人以外の相談相手

問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

- 家族や友人以外の相談相手は、「そのような人はいない」が45.1%で最も高く、具体的な項目では「医師・歯科医師・看護師・介護士」(31.8%)、「地域包括支援センター・市役所」(13.2%)が高くなっています。
- 世帯状況別でみると、「医師・歯科医師・看護師」は息子・娘との2世帯でやや高くなっています。

【家族や友人以外の相談相手】



問6(5) 家族や友人以外の相談相手

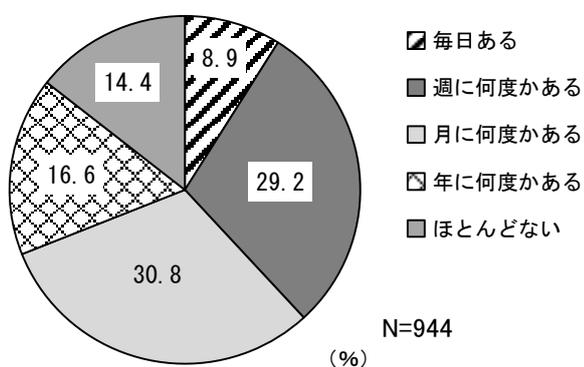
	件数	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	その他	そのような人はいない
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	889	31.8	13.2	8.1	6.0	6.0	6.0	45.1
世帯状況別	1人暮らし	27.0	17.6	7.5	11.9	10.7	6.9	39.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	29.8	12.9	6.9	5.4	4.6	4.6	51.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	31.3	9.4	3.1	3.1	-	9.4	50.0
	息子・娘との2世帯	40.1	14.7	9.1	3.6	4.6	4.1	40.1
	その他	28.7	8.8	12.5	4.4	6.6	11.0	42.6

### 7-3 友人関係について

問6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- 友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」(30.8%)が最も高く、次いで「週に何度かある」(29.2%)、「年に何度かある」(16.6%)が高くなっています。『月1回未満』(「年に何度かある」「ほとんどない」の計)は31.0%となっています。
- 世帯状況別でみると、『月1回未満』は夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(46.9%)で高くなっています。

【友人・知人と会う頻度】



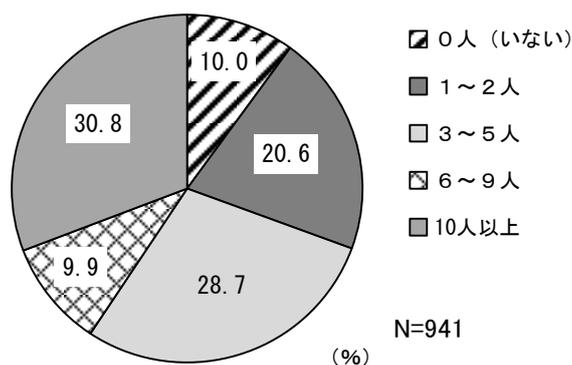
問6(6) 友人・知人と会う頻度

		件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全体		944	84	276	291	157	136
		100.0	8.9	29.2	30.8	16.6	14.4
世帯状況別	1人暮らし	171	16	55	61	19	20
		100.0	9.4	32.2	35.7	11.1	11.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	365	37	104	100	66	58
		100.0	10.1	28.5	27.4	18.1	15.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	32	-	8	9	8	7
	100.0	-	25.0	28.1	25.0	21.9	
息子・娘との2世帯	213	19	50	78	38	28	
	100.0	8.9	23.5	36.6	17.8	13.1	
その他	144	11	51	36	24	22	
	100.0	7.6	35.4	25.0	16.7	15.3	

問6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

- 最近1か月間で会った友人・知人の人数は、「10人以上」(30.8%)が最も高く、次いで「3~5人」(28.7%)、「1~2人」(20.6%)が高くなっています。

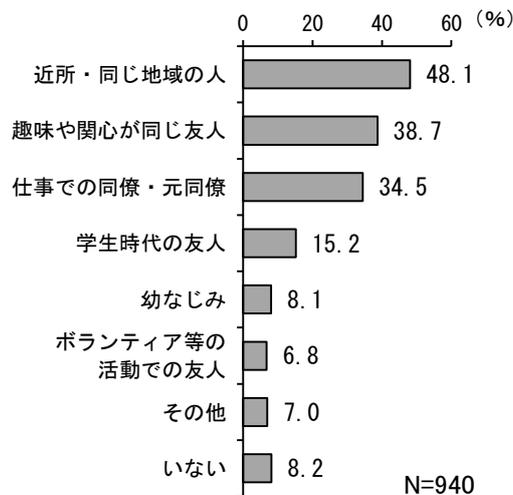
【この1か月間で会った友人・知人の人数】



問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

- よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」(48.1%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(38.7%)、「仕事での同僚・元同僚」(34.5%)が高くなっています。
- 世帯状況別でみると、「近所・同じ地域の人」は息子・娘との2世帯(55.2%)でやや高く、「仕事での同僚・元同僚」は夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(69.7%)で高くなっています。

【よく会う友人・知人との関係】



問6 (8) よく会う友人・知人との関係

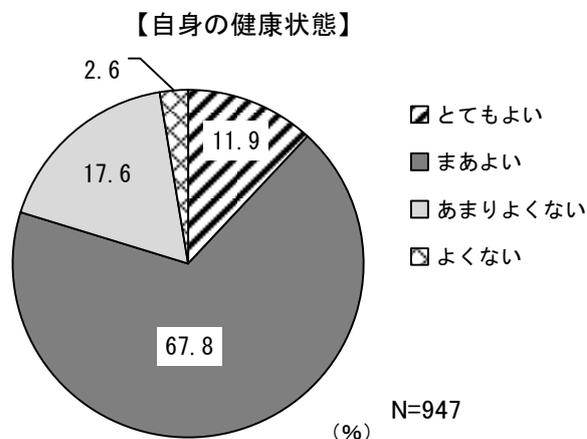
		件数	近所・同じ地域	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人等	その他	いない
全体		940	452	364	324	143	76	64	66	77
		100.0	48.1	38.7	34.5	15.2	8.1	6.8	7.0	8.2
世帯状況別	1人暮らし	171	77	73	47	25	7	9	15	9
		100.0	45.0	42.7	27.5	14.6	4.1	5.3	8.8	5.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	365	173	149	131	61	36	20	19	41
		100.0	47.4	40.8	35.9	16.7	9.9	5.5	5.2	11.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	8	9	23	7	3	1	2	4
	100.0	24.2	27.3	69.7	21.2	9.1	3.0	6.1	12.1	
息子・娘との2世帯	210	116	77	67	33	17	21	13	11	
	100.0	55.2	36.7	31.9	15.7	8.1	10.0	6.2	5.2	
その他	142	67	51	51	16	11	12	15	12	
	100.0	47.2	35.9	35.9	11.3	7.7	8.5	10.6	8.5	

## 8 健康について

### 8-1 自身の健康状態

問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

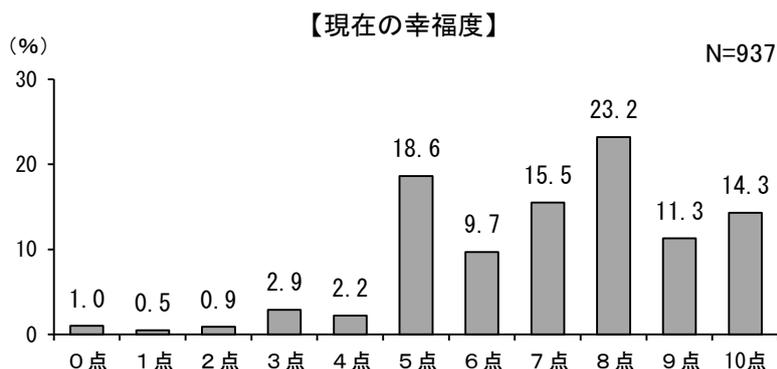
- 現在の自身の健康状態は、「まあよい」(67.8%)が最も高く、「とてもよい」(11.9%)とあわせた『よい』は79.7%を占めています。一方、『よくない』(「よくない」「あまりよくない」の計)は20.2%となっています。



### 8-2 現在の幸福度

問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字に○をつけてください。)(○印は点数に1つ)

- 現在の幸福度を10点満点でたずねたところ、「8点」(23.2%)が最も高くなっています。8点以上は48.8%、6点以上は74.0%を占めています。
- 前回調査と比べると、6点以上は70.2%から3.8ポイント増加しています。



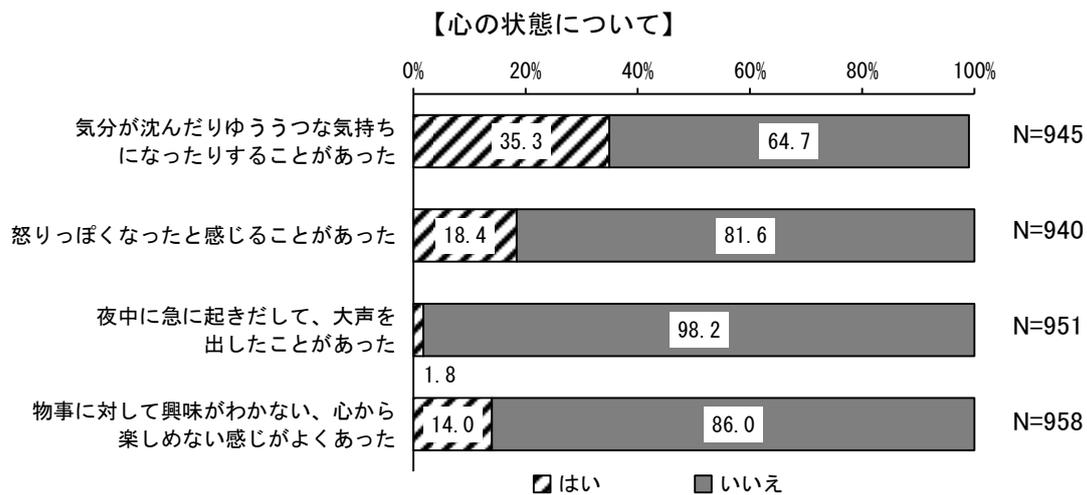
問7(2) 現在の幸福度

	件数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
今回調査 (R1)	937	1.0	0.5	0.9	2.9	2.2	18.6	9.7	15.5	23.2	11.3	14.3
前回調査 (H29)	964	0.1	0.7	1.0	2.8	4.0	21.1	8.2	16.5	20.2	9.2	16.1

### 8-3 心の状態について

- 問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)
- (4) 反対に、この1か月間、怒りっぽくなったと感じることがありましたか。(○は1つ)
- (5) 夜中に急に起きだして、大声を出したことはありましたか。(○は1つ)
- (6) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

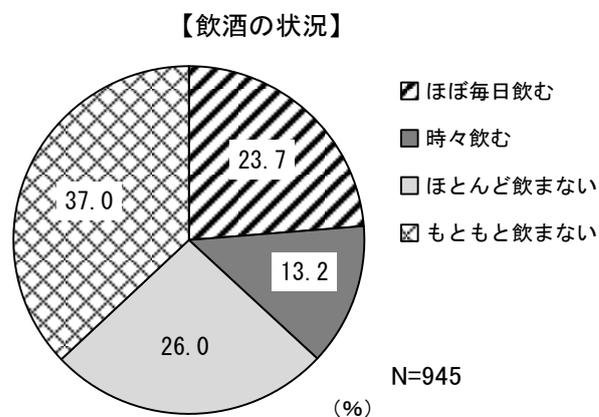
- この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった人は35.3%、怒りっぽくなったと感じることがあった人は18.4%、夜中に急に起きだして大声を出したことがある人は1.8%、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人は14.0%となっています。



### 8-4 飲酒・喫煙の状況

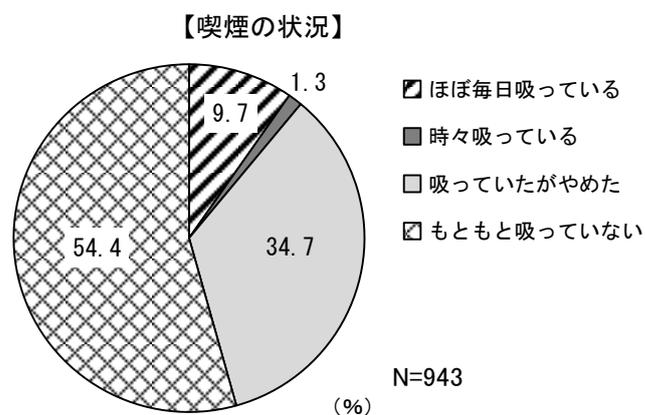
問7(7) お酒は飲みますか。(○は1つ)

- 飲酒の状況は、『飲む』（「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の計）人は36.9%、『飲まない』（「もともと飲まない」「ほとんど飲まない」の計）人は63.0%となっています。



問7(8) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

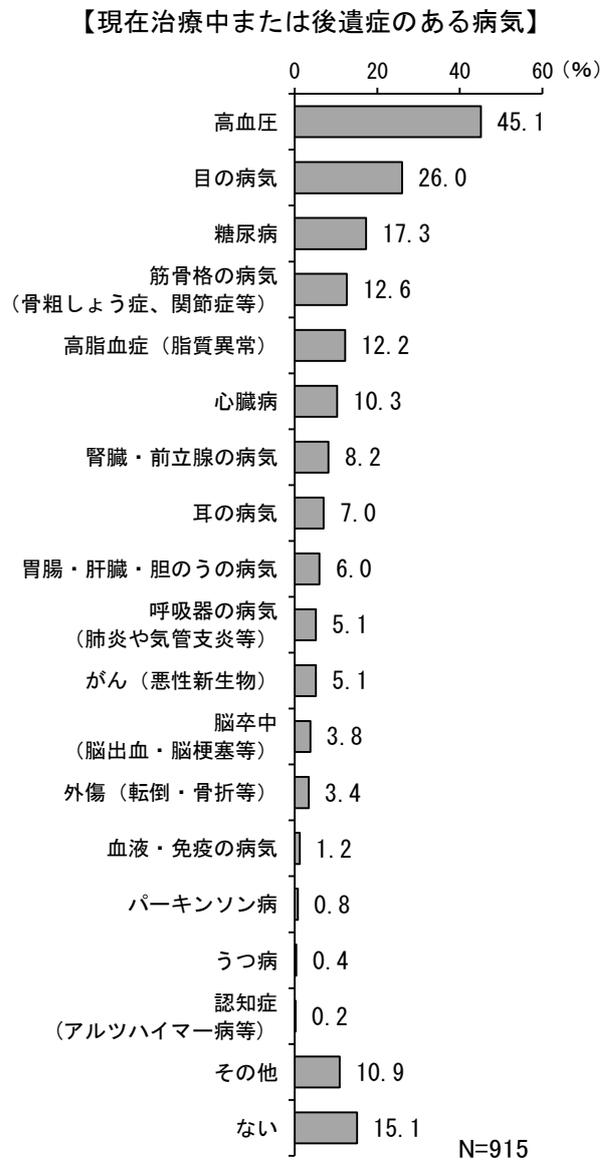
- 喫煙の状況は、『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」の計）人は11.0%、『吸っていない』（「もともと吸っていない」「吸っていたがやめた」の計）人は89.1%となっています。



8-5 現在治療中、または後遺症のある病気

問7(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

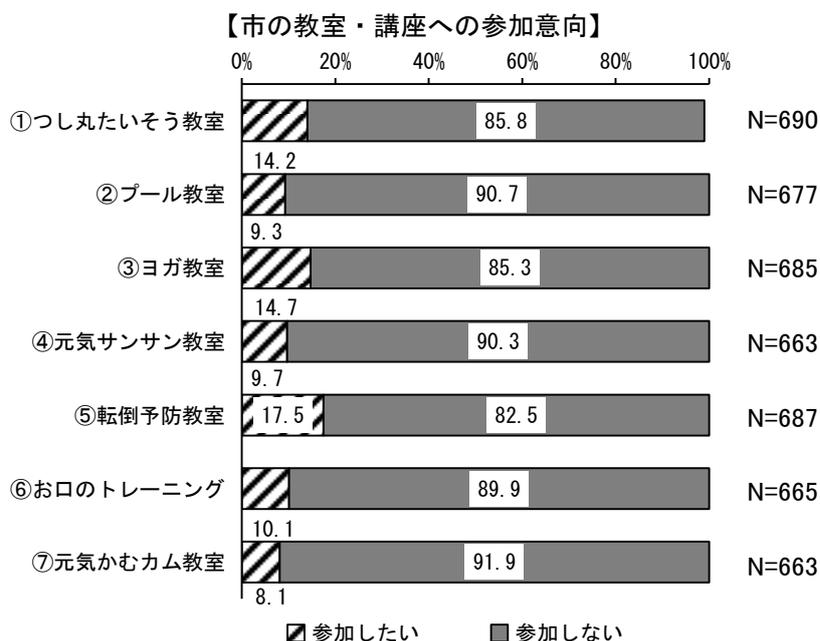
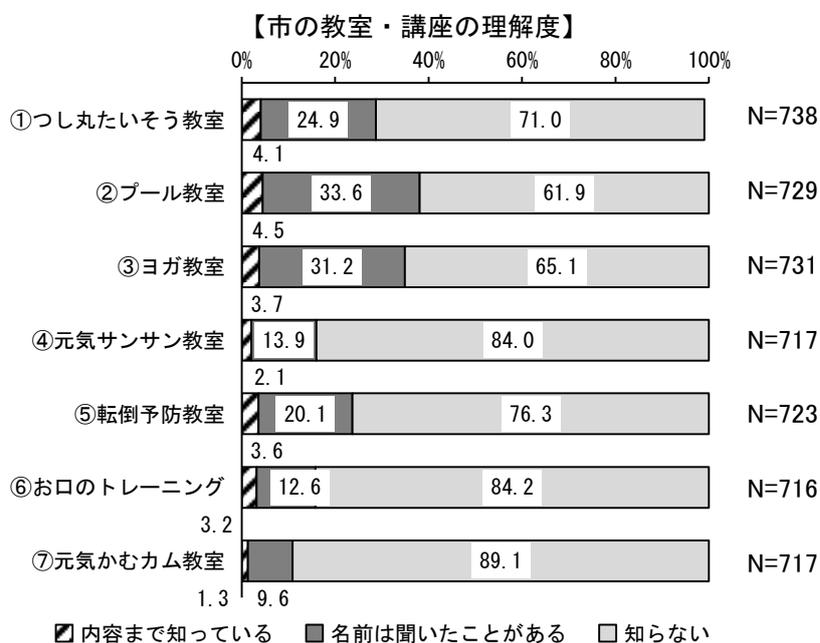
● 現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」(45.1%)が最も高く、次いで「目の病気」(26.0%)、「糖尿病」(17.3%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.6%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.2%)、「心臓病」(10.3%)が1割以上となっています。また、「ない」は15.1%となっています。



### 8-6 市が開催している健康づくり・介護予防教室等について

問7(10) 津島市では、高齢者の健康づくりや介護予防のための教室や講座を開催しています。以下のような教室を知っていますか。また、今後、参加したいと思いますか。(〇は1つずつ)

- 市が開催している高齢者の健康づくりや介護予防のための教室や講座について、「内容まで知っている」はいずれの教室・講座においても1割未満となっています。「内容まで知っている」と「名前は聞いたことがある」を合わせた『知っている』人の割合は、「プール教室」(38.1%)と「ヨガ教室」(34.9%)で高くなっています。
- 教室や講座への参加意向については、「参加したい」は「転倒予防教室」(17.5%)で最も高く、次いで「ヨガ教室」(14.7%)、「つし丸たいそう教室」(14.2%)で高くなっています。



- 教室・講座の理解度について性・年齢別でみると、いずれの教室・講座についても「知らない」は65～74歳の男性で高く、75～84歳の女性で低くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、大きな差はみられませんでした。

		①つし丸たいそう教室				②プール教室				③ヨガ教室				④元気サンサン教室				
		件数	て内容 るまで 知っ	こ名 とが はあ る聞 いた	知 ら な い													
全 体		738 100.0	30 4.1	184 24.9	524 71.0	729 100.0	33 4.5	245 33.6	451 61.9	731 100.0	27 3.7	228 31.2	476 65.1	717 100.0	15 2.1	100 13.9	602 84.0	
性・年齢別	男性	65～74歳	213 100.0	2 0.9	33 15.5	178 83.6	213 100.0	2 0.9	39 18.3	172 80.8	214 100.0	1 0.5	44 20.6	169 79.0	213 100.0	1 0.5	17 8.0	195 91.5
		75～84歳	145 100.0	3 2.1	39 26.9	103 71.0	147 100.0	6 4.1	53 36.1	88 59.9	146 100.0	2 1.4	45 30.8	99 67.8	142 100.0	2 1.4	18 12.7	122 85.9
		85歳以上	19 100.0	- -	4 21.1	15 78.9	20 100.0	1 5.0	8 40.0	11 55.0	19 100.0	- -	6 31.6	13 68.4	19 100.0	- -	2 10.5	17 89.5
	女性	65～74歳	216 100.0	16 7.4	56 25.9	144 66.7	211 100.0	12 5.7	88 41.7	111 52.6	212 100.0	14 6.6	76 35.8	122 57.5	207 100.0	3 1.4	40 19.3	164 79.2
		75～84歳	115 100.0	8 7.0	44 38.3	63 54.8	112 100.0	9 8.0	52 46.4	51 45.5	116 100.0	8 6.9	54 46.6	54 46.6	111 100.0	7 6.3	21 18.9	83 74.8
		85歳以上	30 100.0	1 3.3	8 26.7	21 70.0	26 100.0	3 11.5	5 19.2	18 69.2	24 100.0	2 8.3	3 12.5	19 79.2	25 100.0	2 8.0	2 8.0	21 84.0
圏域別	暁・神守	430 100.0	18 4.2	101 23.5	311 72.3	421 100.0	18 4.3	150 35.6	253 60.1	420 100.0	15 3.6	133 31.7	272 64.8	414 100.0	6 1.4	53 12.8	355 85.7	
	天王・藤浪	308 100.0	12 3.9	83 26.9	213 69.2	308 100.0	15 4.9	95 30.8	198 64.3	311 100.0	12 3.9	95 30.5	204 65.6	303 100.0	9 3.0	47 15.5	247 81.5	

		⑤転倒予防教室				⑥お口のトレーニング				⑦元気かむカム教室				
		件数	て内容 るまで 知っ	こ名 とが はあ る聞 いた	知 ら な い	件数	て内容 るまで 知っ	こ名 とが はあ る聞 いた	知 ら な い	件数	て内容 るまで 知っ	こ名 とが はあ る聞 いた	知 ら な い	
全 体		723 100.0	26 3.6	145 20.1	552 76.3	716 100.0	23 3.2	90 12.6	603 84.2	717 100.0	9 1.3	69 9.6	639 89.1	
性・年齢別	男性	65～74歳	213 100.0	- -	22 10.3	191 89.7	213 100.0	- -	14 6.6	199 93.4	213 100.0	- -	11 5.2	202 94.8
		75～84歳	142 100.0	3 2.1	26 18.3	113 79.6	142 100.0	1 0.7	17 12.0	124 87.3	141 100.0	- -	12 8.5	129 91.5
		85歳以上	18 100.0	1 5.6	5 27.8	12 66.7	18 100.0	1 5.6	- -	17 94.4	19 100.0	2 10.5	- -	17 89.5
	女性	65～74歳	209 100.0	10 4.8	51 24.4	148 70.8	208 100.0	6 2.9	36 17.3	166 79.8	210 100.0	1 0.5	32 15.2	177 84.3
		75～84歳	115 100.0	10 8.7	36 31.3	69 60.0	112 100.0	13 11.6	21 18.8	78 69.6	110 100.0	5 4.5	13 11.8	92 83.6
		85歳以上	26 100.0	2 7.7	5 19.2	19 73.1	23 100.0	2 8.7	2 8.7	19 82.6	24 100.0	1 4.2	1 4.2	22 91.7
圏域別	暁・神守	420 100.0	16 3.8	75 17.9	329 78.3	413 100.0	13 3.1	46 11.1	354 85.7	415 100.0	5 1.2	36 8.7	374 90.1	
	天王・藤浪	303 100.0	10 3.3	70 23.1	223 73.6	303 100.0	10 3.3	44 14.5	249 82.2	302 100.0	4 1.3	33 10.9	265 87.7	

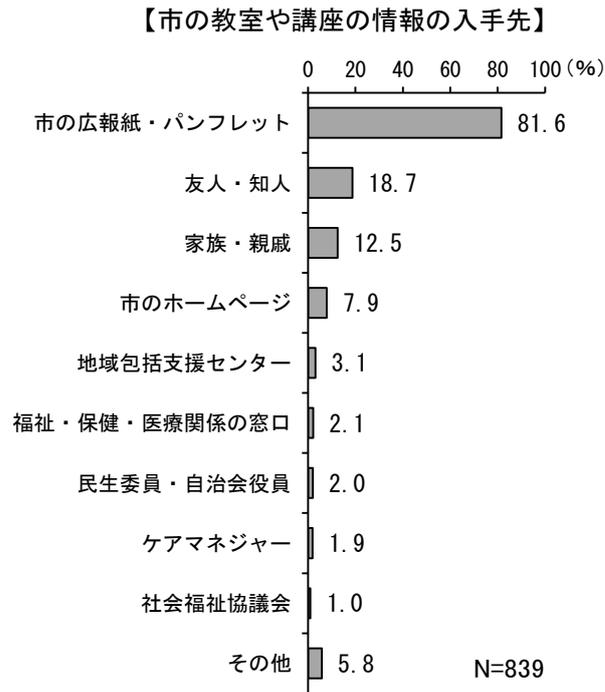
- 参加意向について性・年齢別でみると、「プール教室」以外の教室・講座について「参加したい」は65～84歳の男性で低く、75歳以上の女性で高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、大きな差はみられませんでした。

		①つし丸たいそう教室			②プール教室			③ヨガ教室			④元気サンサン教室			
		件数	参加したい	参加しない	件数	参加したい	参加しない	件数	参加したい	参加しない	件数	参加したい	参加しない	
全体		690	98	592	677	63	614	685	101	584	663	64	599	
		100.0	14.2	85.8	100.0	9.3	90.7	100.0	14.7	85.3	100.0	9.7	90.3	
性・年齢別	男性	65～74歳	204	15	189	207	17	190	206	14	192	206	13	193
			100.0	7.4	92.6	100.0	8.2	91.8	100.0	6.8	93.2	100.0	6.3	93.7
		75～84歳	133	10	123	139	14	125	134	13	121	129	7	122
		100.0	7.5	92.5	100.0	10.1	89.9	100.0	9.7	90.3	100.0	5.4	94.6	
		85歳以上	18	4	14	18	1	17	19	2	17	16	1	15
		100.0	22.2	77.8	100.0	5.6	94.4	100.0	10.5	89.5	100.0	6.3	93.8	
女性	65～74歳	200	36	164	192	23	169	199	46	153	188	25	163	
		100.0	18.0	82.0	100.0	12.0	88.0	100.0	23.1	76.9	100.0	13.3	86.7	
	75～84歳	107	27	80	96	7	89	102	20	82	97	10	87	
	100.0	25.2	74.8	100.0	7.3	92.7	100.0	19.6	80.4	100.0	10.3	89.7		
	85歳以上	28	6	22	25	1	24	25	6	19	27	8	19	
	100.0	21.4	78.6	100.0	4.0	96.0	100.0	24.0	76.0	100.0	29.6	70.4		
圏域別	暁・神守	394	49	345	388	40	348	392	52	340	380	31	349	
		100.0	12.4	87.6	100.0	10.3	89.7	100.0	13.3	86.7	100.0	8.2	91.8	
	天王・藤浪	296	49	247	289	23	266	293	49	244	283	33	250	
	100.0	16.6	83.4	100.0	8.0	92.0	100.0	16.7	83.3	100.0	11.7	88.3		

		⑤転倒予防教室			⑥お口のトレーニング			⑦元気がむカム教室			
		件数	参加したい	参加しない	件数	参加したい	参加しない	件数	参加したい	参加しない	
全体		687	120	567	665	67	598	663	54	609	
		100.0	17.5	82.5	100.0	10.1	89.9	100.0	8.1	91.9	
性・年齢別	男性	65～74歳	206	12	194	203	11	192	204	9	195
			100.0	5.8	94.2	100.0	5.4	94.6	100.0	4.4	95.6
		75～84歳	134	15	119	130	6	124	129	5	124
		100.0	11.2	88.8	100.0	4.6	95.4	100.0	3.9	96.1	
		85歳以上	21	5	16	17	2	15	17	2	15
		100.0	23.8	76.2	100.0	11.8	88.2	100.0	11.8	88.2	
女性	65～74歳	190	37	153	190	20	170	189	15	174	
		100.0	19.5	80.5	100.0	10.5	89.5	100.0	7.9	92.1	
	75～84歳	109	43	66	99	23	76	97	17	80	
	100.0	39.4	60.6	100.0	23.2	76.8	100.0	17.5	82.5		
	85歳以上	27	8	19	26	5	21	27	6	21	
	100.0	29.6	70.4	100.0	19.2	80.8	100.0	22.2	77.8		
圏域別	暁・神守	390	56	334	376	31	345	375	25	350	
		100.0	14.4	85.6	100.0	8.2	91.8	100.0	6.7	93.3	
	天王・藤浪	297	64	233	289	36	253	288	29	259	
	100.0	21.5	78.5	100.0	12.5	87.5	100.0	10.1	89.9		

問7 (11) あなたは、津島市で行っている各種教室や講座の情報をどこから収集していますか。(〇はいくつでも)

- 市で行っている各種教室や講座の情報の入手先は、「市の広報紙・パンフレット」(81.6%)が最も高く、次いで「友人・知人」(18.7%)、「家族・親戚」(12.5%)が高くなっており、その他はいずれも1割未満となっています。



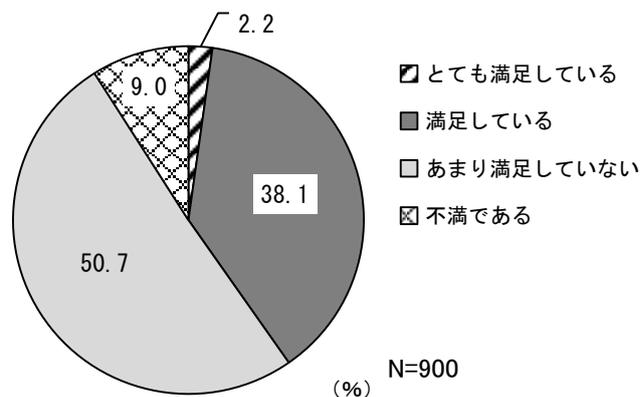
## 9 地域の社会資源について

### 9-1 市の住みやすさに対する満足度

問8(1) あなたは、「住みやすいまち」として、津島市に満足されていますか。(○は1つ)

- 「住みやすいまち」としての津島市に対する評価は、「とても満足している」が2.2%、「満足している」が38.1%となっており、『満足している』は合計40.3%となっています。一方、「あまり満足していない」は50.7%、「不満である」は9.0%で、『満足していない』は合計59.7%となっており、『満足している』を19.4ポイント上回っています。
- 日常生活圏域別では、『満足している』は天王・藤浪（44.5%）でやや高くなっています。
- 前回調査と比べると、『満足している』は44.0%から3.7ポイント減少しています。

【市の住みやすさに対する満足度】



問8(1) 「住みやすいまち」としての津島市に対する満足度

		件数	とても満足している	満足している	あまり満足していない	不満である
全体		900	20	343	456	81
		100.0	2.2	38.1	50.7	9.0
圏域別	暁・神守	521	13	181	286	41
		100.0	2.5	34.7	54.9	7.9
	天王・藤浪	379	7	162	170	40
		100.0	1.8	42.7	44.9	10.6

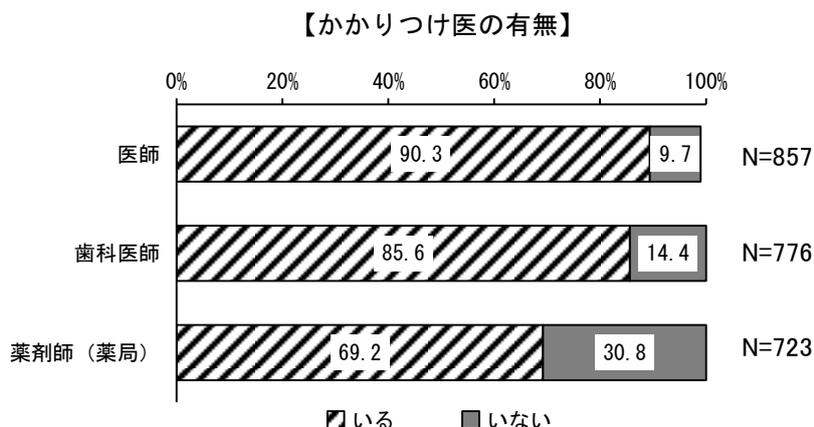
問8(1) 「住みやすいまち」としての津島市に対する満足度

	件数	とても満足している	満足している	あまり満足していない	不満である
今回調査 (R1)	900	2.2	38.1	50.7	9.0
前回調査 (H29)	950	2.7	41.3	49.4	6.6

9-2 かかりつけ医の有無

問8(2) あなたは、病気になった時に受診することができるかかりつけ医がいますか。(○は1つつ)

- かかりつけ医については、「いる」は「医師」で90.3%、「歯科医師」で85.6%、「薬剤師(薬局)」で69.2%となっています。
- 世帯状況別でみると、いずれのかかりつけ医も「いない」は夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で高くなっています。



問8(2) かかりつけ医の有無

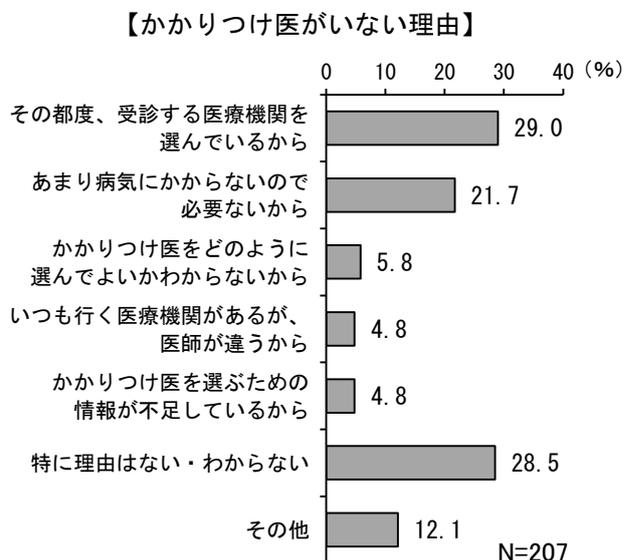
	①医師			②歯科医師			③薬剤師(薬局)			
	件数	いる	いない	件数	いる	いない	件数	いる	いない	
全体	857	774	83	776	664	112	723	500	223	
	100.0	90.3	9.7	100.0	85.6	14.4	100.0	69.2	30.8	
世帯状況別	1人暮らし	147	129	18	128	105	23	119	75	44
		100.0	87.8	12.2	100.0	82.0	18.0	100.0	63.0	37.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	338	301	37	312	266	46	295	201	94
		100.0	89.1	10.9	100.0	85.3	14.7	100.0	68.1	31.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	33	26	7	31	25	6	31	18	13
	100.0	78.8	21.2	100.0	80.6	19.4	100.0	58.1	41.9	
息子・娘との2世帯	196	184	12	172	152	20	159	119	40	
	100.0	93.9	6.1	100.0	88.4	11.6	100.0	74.8	25.2	
その他	128	119	9	119	102	17	107	78	29	
	100.0	93.0	7.0	100.0	85.7	14.3	100.0	72.9	27.1	

### 9-3 かかりつけ医がない理由

(問8(2)で1つでも「2 いない」を選んだ方に)

問8(2)-① かかりつけ医がない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- かかりつけ医がない理由は、「その都度、受診する医療機関を選んでいるから」(29.0%)が最も高く、具体的な項目では次いで「あまり病気にかからないので必要ないから」(21.7%)が高くなっています。また、「特に理由はない・わからない」は28.5%となっています。

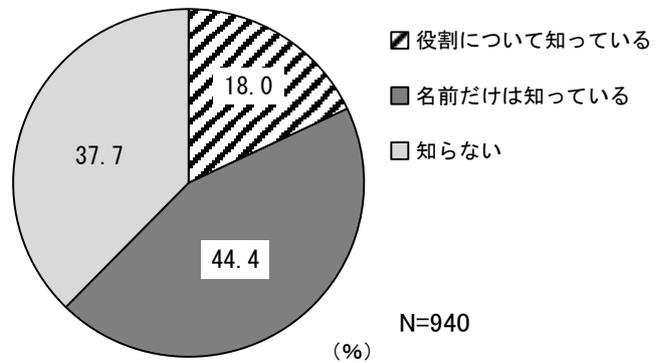


9-4 市の地域包括支援センターの理解度

問8(3) あなたは、高齢者への総合的な生活支援の窓口である地域包括支援センターが、津島市にあることを知っていますか。(○は1つ)

- 地域包括支援センターについて、「役割について知っている」は18.0%、「名前だけは知っている」は44.4%となっています。また、「知らない」は37.7%となっています。
- 世帯状況別では、「知らない」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）でやや高くなっています。
- 認定状況別では、「役割について知っている」は要支援者及び事業対象者で高くなっています。
- 日常生活圏域別では、大きな差はみられませんでした。

【市の地域包括支援センターの理解度】



問8(3) 市の地域包括支援センターの理解度

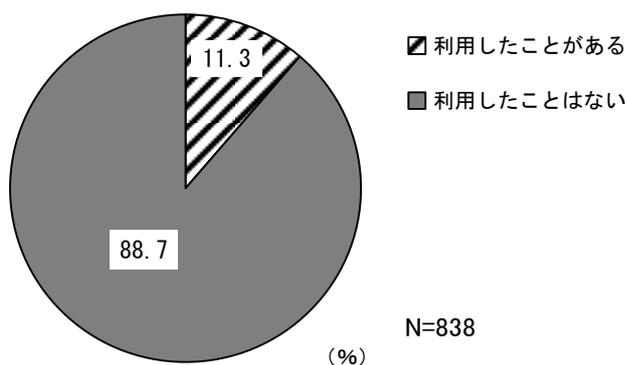
		件数	役割について知っている (%)	名前だけは知っている (%)	知らない (%)
全体		940	18.0	44.4	37.7
世帯状況別	1人暮らし	169	16.0	47.9	36.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	363	19.6	40.2	40.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	33	6.1	48.5	45.5
	息子・娘との2世帯	215	19.1	45.6	35.3
	その他	142	18.3	45.1	36.6
	認定状況別	要支援1	13	53.8	23.1
	要支援2	32	28.1	40.6	31.3
	事業対象者	11	54.5	36.4	9.1
	認定なし	884	16.6	44.9	38.5
圏域別	暁・神守	541	17.2	46.0	36.8
	天王・藤浪	399	19.0	42.1	38.8

9-5 地域包括支援センターの利用状況

問8(4) あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

- 地域包括支援センターを「利用したことがある」人は11.3%となっています。
- 認定状況別では、「利用したことがある」は要支援1で72.7%、要支援2で60.0%、事業対象者で80.0%と高くなっています。
- 日常生活圏域別では、大きな差はみられませんでした。

【地域包括支援センターの利用状況】



問8(4) 利用状況

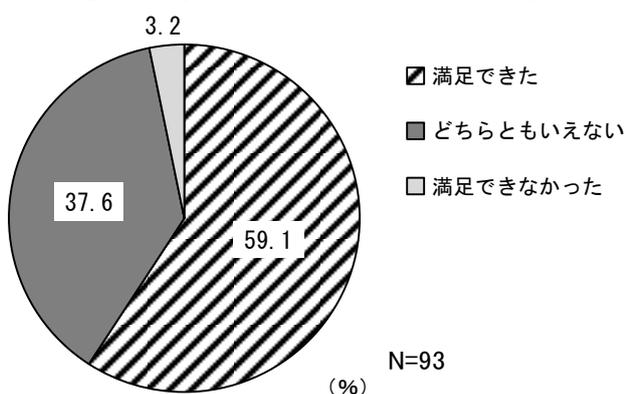
		件数	と利用 したこ ろ	と利 用し ないこ ろ
全体		838	95	743
		100.0	11.3	88.7
認定 状況 別	要支援1	11	8	3
		100.0	72.7	27.3
	要支援2	30	18	12
		100.0	60.0	40.0
事業 対象 者		10	8	2
		100.0	80.0	20.0
認定なし		787	61	726
		100.0	7.8	92.2
圏 域 別	暁・神守	481	53	428
		100.0	11.0	89.0
天王・藤浪		357	42	315
		100.0	11.8	88.2

(問8(4)で「1 利用したことがある」を選んだ方に)

問8(4)-① 地域包括支援センターを利用してみていかがでしたか。(○は1つ)

- 地域包括支援センターを利用した感想については、「満足できた」が59.1%、「どちらともいえない」が37.6%、「満足できなかった」が3.2%となっています。
- 認定状況別では、「満足できた」は事業対象者(87.5%)、要支援1(75.0%)で高くなっています。
- 日常生活圏域別では、「満足できた」は暁・神守(67.9%)で高くなっています。

【地域包括支援センターの利用満足度】



問8(4)① 地域包括支援センターの利用満足度

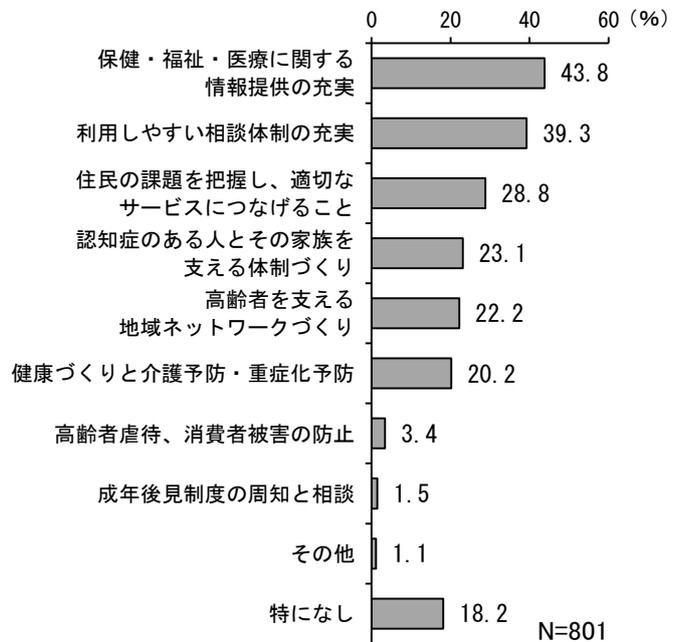
		件数	満 足 で き た	い ど ち ら と も い え な い	満 足 で き な か つ た
全体		93	55	35	3
		100.0	59.1	37.6	3.2
認定 状況 別	要支援1	8	6	2	-
		100.0	75.0	25.0	-
	要支援2	17	9	7	1
		100.0	52.9	41.2	5.9
事業 対象 者		8	7	1	-
		100.0	87.5	12.5	-
認定なし		60	33	25	2
		100.0	55.0	41.7	3.3
圏 域 別	暁・神守	53	36	17	-
		100.0	67.9	32.1	-
天王・藤浪		40	19	18	3
		100.0	47.5	45.0	7.5

9-6 地域包括支援センターに注力してほしい役割

問8 (5) 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい役割はなんですか。(〇は3つまで)

- 今後、地域包括支援センターに注力してほしい役割は、「保健・福祉・医療に関する情報提供の充実」(43.8%)が最も高く、次いで「利用しやすい相談体制の充実」(39.3%)、「住民の課題を把握し、適切なサービスにつなげること」(28.8%)が高くなっています。また、「特になし」は18.2%となっています。
- 認定状況別では、「利用しやすい相談体制の充実」は事業対象者(62.5%)で高くなっています。
- 日常生活圏域別では、大きな差はみられませんでした。

【地域包括支援センターに注力してほしい役割】



問8 (5) 地域包括支援センターに今後特に力を入れてほしい役割

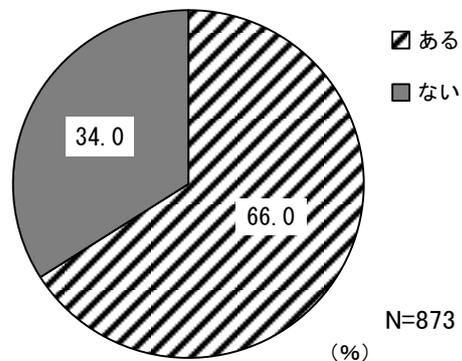
	件数	保健・福祉・医療に関する情報提供の充実	利用しやすい相談体制の充実	住民の課題を把握し、適切なサービスにつなげること	認知症のある人とその家族を支える体制づくり	高齢者を支える地域ネットワークづくり	健康づくりと介護予防・重症化予防	高齢者虐待、消費者被害の防止	成年後見制度の周知と相談	その他	特になし
全体	801	351	315	231	185	178	162	27	12	9	146
	100.0	43.8	39.3	28.8	23.1	22.2	20.2	3.4	1.5	1.1	18.2
認定状況別	要支援1	8	3	3	4	1	5	5	-	-	-
		100.0	37.5	37.5	50.0	12.5	62.5	62.5	-	-	-
	要支援2	24	13	9	6	4	6	7	1	1	5
		100.0	54.2	37.5	25.0	16.7	25.0	29.2	4.2	4.2	20.8
事業対象者	8	3	5	3	1	1	1	-	-	-	1
	100.0	37.5	62.5	37.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5
認定なし	761	332	298	218	179	166	149	26	11	8	140
	100.0	43.6	39.2	28.6	23.5	21.8	19.6	3.4	1.4	1.1	18.4
圏域別	暁・神守	464	200	183	121	108	91	15	4	6	92
		100.0	43.1	39.4	26.1	23.3	22.8	19.6	3.2	0.9	1.3
	天王・藤浪	337	151	132	110	77	71	12	8	3	54
	100.0	44.8	39.2	32.6	22.8	21.4	21.1	3.6	2.4	0.9	16.0

9-7 気軽に外出できる自宅近くの場所の有無

問8 (6) 自宅の近くに気軽に外出できる場所がありますか。(○は1つ)

- 自宅の近くに気軽に外出できる場所が「ある」人は66.0%となっています。
- 日常生活圏域別では、「ある」は天王・藤浪 (77.2%) で高くなっています。

【気軽に外出できる自宅近くの場所の有無】



問8 (6) 自宅近くで気軽に外出できる場所の有無

		件数	ある	ない
全体		873	576	297
		100.0	66.0	34.0
圏域別	暁・神守	500	288	212
		100.0	57.6	42.4
圏域別	天王・藤浪	373	288	85
		100.0	77.2	22.8

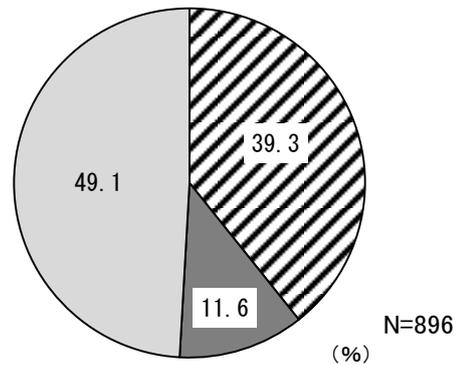
## 10 今後の介護・高齢者施策について

### 10-1 自身が受けたい介護

問9(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○は1つ)

- 自身が受けたい介護は、「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」が39.3%、「自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所（入居）して生活したい」が11.6%、「今のところ、よくわからない」が49.1%となっています。
- 世帯状況別では、「今のところ、よくわからない」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で高くなっています。
- 認定状況別では、「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」は要支援2（50.0%）で高く、事業対象者（10.0%）で低くなっています。
- 前回調査と比べると、「今のところ、よくわからない」が6.5ポイント増加し、「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」は3.8ポイント、「自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所（入居）して生活したい」は2.7ポイント、それぞれ減少しています。

【自身が受けたい介護】



- できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい
- 自宅以外の「介護施設」等に入所（入居）して生活したい
- 今のところ、よくわからない

問9(1) 自分が希望する介護の受け方

	件数	をみ	し設	自	ら今
		利用	て「	宅	なの
		が	生	以	ところ、
		ら	活	外	よく
		か	に	の	わか
		ぎ	入	「	か
		り	所	介	
		サ	（	護	
		ー	入	施	
		宅	居	）	
		に	）		
		ス			
		住			
全体	896	352	104	440	
	100.0	39.3	11.6	49.1	
世帯状況別	1人暮らし	160	50	29	81
		100.0	31.3	18.1	50.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	345	139	37	169
		100.0	40.3	10.7	49.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	32	8	3	21
	100.0	25.0	9.4	65.6	
息子・娘との2世帯	205	98	20	87	
	100.0	47.8	9.8	42.4	
その他	138	48	15	75	
	100.0	34.8	10.9	54.3	
認定状況別	要支援1	13	5	1	7
		100.0	38.5	7.7	53.8
	要支援2	30	15	5	10
		100.0	50.0	16.7	33.3
事業対象者	10	1	3	6	
	100.0	10.0	30.0	60.0	
認定なし	843	331	95	417	
	100.0	39.3	11.3	49.5	

問9(1) 自分が希望する介護の受け方

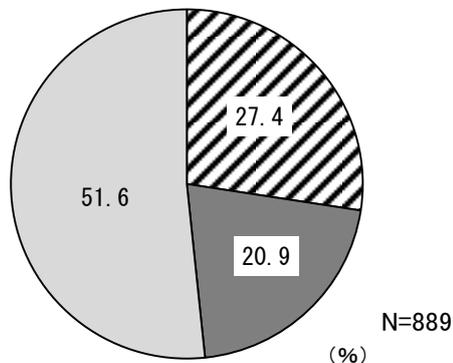
	件数	をみ	し設	自	ら今
		利用	て「	宅	なの
		が	生	以	ところ、
		ら	活	外	よく
		か	に	の	わか
		ぎ	入	「	か
		り	所	介	
		サ	（	護	
		ー	入	施	
		宅	居	）	
		に	）		
		ス			
		住			
今回調査 (R1)	896	39.3	11.6	49.1	
前回調査 (H29)	986	43.1	14.3	42.6	

10-2 介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方

問9(2) 介護保険料（津島市の介護保険料の基準額は、月額5,600円です。）と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。（○は1つ）

- 介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方をたずねたところ、「どちらとも言えない」(51.6%)が最も高く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できれば良い」(27.4%)、「給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」(20.9%)となっています。
- 世帯状況別では、「介護保険料が多少高くなっても、サービスが充実できれば良い」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）(40.6%)で高くなっています。
- 認定状況別では、「介護保険料が多少高くなっても、サービスが充実できれば良い」は要支援2と事業対象者（ともに40.0%）で高く、「介護サービスを多少抑えても、保険料は低い方がよい」は要支援1（50.0%）で高くなっています。
- 前回調査と比べると、「介護保険料が多少高くなっても、サービスが充実できれば良い」は4.4ポイント増加し、「介護サービスを多少抑えても、保険料は低い方がよい」は4.4ポイント減少しています。

【介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方】



- 介護保険料が多少高くなっても、サービスが充実できれば良い
- 介護サービスを多少抑えても、保険料は低い方がよい
- どちらとも言えない

問9(2) 介護保険料とサービスのあり方について

		件数	充実しても良い サービスが多少高く	介護保険料が多少抑えても、保険料は低い	どちらとも言えない
全体		889 100.0	244 27.4	186 20.9	459 51.6
世帯状況別	1人暮らし	162 100.0	38 23.5	34 21.0	90 55.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	342 100.0	92 26.9	70 20.5	180 52.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	32 100.0	13 40.6	5 15.6	14 43.8
	息子・娘との2世帯	202 100.0	63 31.2	44 21.8	95 47.0
	その他	135 100.0	35 25.9	27 20.0	73 54.1
認定状況別	要支援1	12 100.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7
	要支援2	30 100.0	12 40.0	7 23.3	11 36.7
	事業対象者	10 100.0	4 40.0	1 10.0	5 50.0
	認定なし	837 100.0	224 26.8	172 20.5	441 52.7

問9(2) 介護保険料とサービスのあり方について

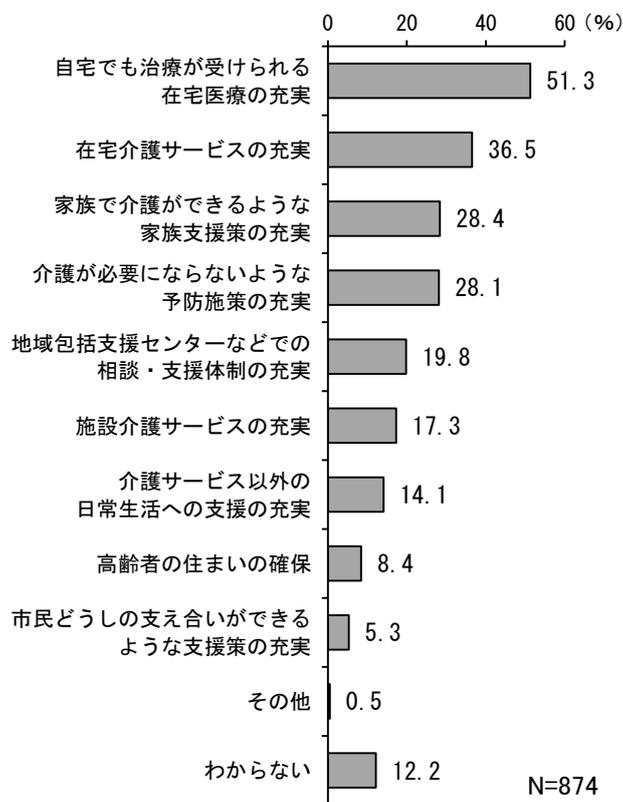
	件数	充実しても良い サービスが多少高く	介護保険料が多少抑えても、保険料は低い	どちらとも言えない
今回調査 (R1)	889	27.4	20.9	51.6
前回調査 (H29)	960	23.0	25.3	51.7

10-3 市に望む高齢者への介護体制の充実

問9(3) 高齢者への介護体制の充実のため、津島市にどのようなことを希望しますか。(〇は3つまで)

- 市に望む高齢者への介護体制の充実は、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」(51.3%)が最も高く、次いで「在宅介護サービスの充実」(36.5%)、「家族で介護ができるような家族支援策の充実」(28.4%)、「介護が必要にならないような予防施策の充実」(28.1%)が高くなっています。また、「わからない」は12.2%となっています。

【市に望む高齢者への介護体制の充実】



- 世帯状況別では、「地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実」「施設介護サービスの充実」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で高くなっています。
- 認定状況別では、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」「在宅介護サービスの充実」は要支援1で高く、「地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実」「施設介護サービスの充実」は事業対象者で高くなっています。

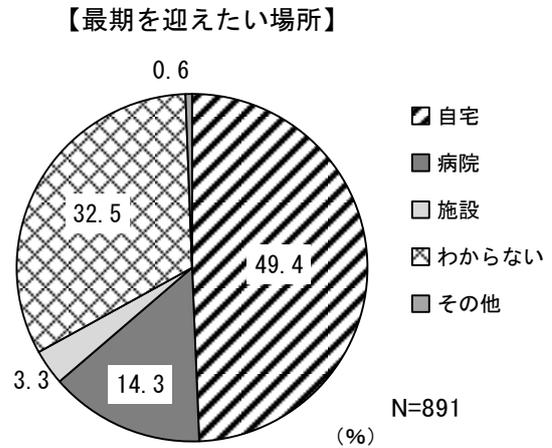
問9（3） 高齢者への介護体制の充実のため市に希望すること

	件数	れ自 宅 在 宅 で も 医 療 が 受 け ら れ る 充 実	実 在 宅 介 護 サ ー ビ ス の 充 実	う 家 族 で 介 護 が 支 援 が で き る 充 実 よ	よ 介 護 が 必 要 に な ら な い 充 実	制 な 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 支 援 体 制 の 充 実	実 施 設 介 護 サ ー ビ ス の 充 実	常 介 護 サ ー ビ ス 以 外 の 充 実 日	高 齢 者 の 住 ま い の 確 保	の が 市 民 ど う し の 支 え 合 い の 充 実	そ の 他	わ か ら な い	
全 体	874 100.0	448 51.3	319 36.5	248 28.4	246 28.1	173 19.8	151 17.3	123 14.1	73 8.4	46 5.3	4 0.5	107 12.2	
世帯状況別	1人暮らし	155 100.0	63 40.6	44 28.4	9 5.8	53 34.2	31 20.0	20 12.9	27 17.4	25 16.1	10 6.5	2 1.3	24 15.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	342 100.0	191 55.8	138 40.4	117 34.2	93 27.2	72 21.1	57 16.7	49 14.3	21 6.1	22 6.4	-	31 9.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	30 100.0	11 36.7	12 40.0	10 33.3	8 26.7	9 30.0	10 33.3	2 6.7	3 10.0	-	-	4 13.3
	息子・娘との2世帯	202 100.0	105 52.0	65 32.2	68 33.7	52 25.7	36 17.8	40 19.8	27 13.4	14 6.9	5 2.5	1 0.5	27 13.4
	その他	131 100.0	68 51.9	53 40.5	40 30.5	37 28.2	23 17.6	23 17.6	16 12.2	9 6.9	8 6.1	1 0.8	21 16.0
認定状況別	要支援1	10 100.0	8 80.0	6 60.0	2 20.0	-	3 30.0	-	3 30.0	1 10.0	-	-	1 10.0
	要支援2	30 100.0	12 40.0	9 30.0	8 26.7	6 20.0	3 10.0	4 13.3	6 20.0	5 16.7	1 3.3	-	6 20.0
	事業対象者	9 100.0	3 33.3	1 11.1	-	2 22.2	6 66.7	4 44.4	-	-	-	-	3 33.3
	認定なし	825 100.0	425 51.5	303 36.7	238 28.8	238 28.8	161 19.5	143 17.3	114 13.8	67 8.1	45 5.5	4 0.5	97 11.8
圏域別	暁・神守	510 100.0	268 52.5	182 35.7	145 28.4	147 28.8	94 18.4	80 15.7	73 14.3	36 7.1	28 5.5	3 0.6	66 12.9
	天王・藤浪	364 100.0	180 49.5	137 37.6	103 28.3	99 27.2	79 21.7	71 19.5	50 13.7	37 10.2	18 4.9	1 0.3	41 11.3

10-4 最期を迎えたい場所

問9(4) あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(○は1つ)

- 最期を迎えたい場所は、「自宅」(49.4%)が最も高く、次いで「わからない」(32.5%)、「病院」(14.3%)、「施設」(3.3%)となっています。
- 世帯状況別では、「わからない」は1人暮らし(44.5%)、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(48.4%)で高くなっています。
- 認定状況別では、「自宅」は要支援1(63.6%)で高く、「わからない」は事業対象者(66.7%)で高くなっています。



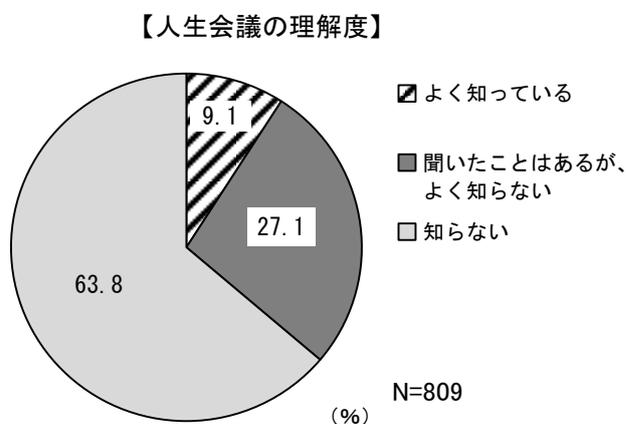
問9(4) 自分が最期を迎えたい場所

		件数	自宅	病院	施設	わからない	その他
全体		891	440	127	29	290	5
		100.0	49.4	14.3	3.3	32.5	0.6
世帯状況別	1人暮らし	155	53	22	10	69	1
		100.0	34.2	14.2	6.5	44.5	0.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	349	177	49	7	113	3
		100.0	50.7	14.0	2.0	32.4	0.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	31	12	3	1	15	-
	100.0	38.7	9.7	3.2	48.4	-	
息子・娘との2世帯	207	111	30	9	57	-	
	100.0	53.6	14.5	4.3	27.5	-	
その他	134	77	21	2	33	1	
	100.0	57.5	15.7	1.5	24.6	0.7	
認定状況別	要支援1	11	7	1	-	3	-
		100.0	63.6	9.1	-	27.3	-
	要支援2	32	19	3	1	9	-
		100.0	59.4	9.4	3.1	28.1	-
事業対象者	9	2	-	1	6	-	
	100.0	22.2	-	11.1	66.7	-	
認定なし	839	412	123	27	272	5	
	100.0	49.1	14.7	3.2	32.4	0.6	

### 10-5 人生会議の理解度

問9(5) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うこと、または人生会議について知っていますか。(〇は1つ)

- 人生会議については、「よく知っている」が9.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が27.1%で、合わせて『聞いたことはある』人が36.2%となっています。また、「知らない」は63.8%となっています。
- 世帯状況別でみると、「よく知っている」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）（20.7%）で高くなっています。
- 認定状況別でみると、『聞いたことはある』は事業対象者（50.0%）で高くなっています。



問9(5) 人生会議の理解度

		件数	よく知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	知らない
全体		809	74	219	516
		100.0	9.1	27.1	63.8
世帯状況別	1人暮らし	134	10	36	88
		100.0	7.5	26.9	65.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	327	27	95	205
		100.0	8.3	29.1	62.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	29	6	7	16
	100.0	20.7	24.1	55.2	
世帯状況別	息子・娘との2世帯	184	16	58	110
		100.0	8.7	31.5	59.8
	その他	125	12	21	92
	100.0	9.6	16.8	73.6	
認定状況別	要支援1	9	1	2	6
		100.0	11.1	22.2	66.7
	要支援2	28	3	9	16
		100.0	10.7	32.1	57.1
認定状況別	事業対象者	8	1	3	4
		100.0	12.5	37.5	50.0
	認定なし	764	69	205	490
	100.0	9.0	26.8	64.1	

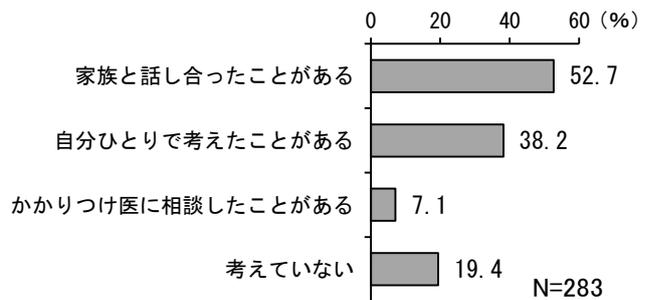
10-6 人生会議の実施状況

(問9(5)で「1 よく知っている」または「2 聞いたことはあるが、よく知らない」を選んだ方に)

問9(5)-① 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うこと、または人生会議の状況についてお聞かせください。(〇はいくつでも)

- 人生会議の実施状況は、「家族と話し合ったことがある」(52.7%)が最も高く、次いで「自分ひとりで考えたことがある」(38.2%)、「かかりつけ医に相談したことがある」(7.1%)となっています。また、「考えていない」は19.4%となっています。
- 世帯状況別で見ると、「考えていない」は夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(30.8%)で高くなっています。
- 認定状況別で見ると、「考えていない」は要支援者及び事業対象者で低くなっています。

【人生会議の実施状況】



問9(5)① 人生会議の状況

		件数	家族と話し合った	自分ひとりで考えた	かかりつけ医に相談した	考えていない
全体		283	149	108	20	55
		100.0	52.7	38.2	7.1	19.4
世帯状況別	1人暮らし	42	21	20	3	7
		100.0	50.0	47.6	7.1	16.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	117	55	45	6	27
		100.0	47.0	38.5	5.1	23.1
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	13	8	3	1	4
	100.0	61.5	23.1	7.7	30.8	
息子・娘との2世帯	74	43	28	7	10	
	100.0	58.1	37.8	9.5	13.5	
その他	32	19	12	2	6	
	100.0	59.4	37.5	6.3	18.8	
認定状況別	要支援1	3	2	1	-	-
		100.0	66.7	33.3	-	-
	要支援2	12	4	5	3	1
		100.0	33.3	41.7	25.0	8.3
事業対象者	4	3	3	1	-	
	100.0	75.0	75.0	25.0	-	
認定なし	264	140	99	16	54	
	100.0	53.0	37.5	6.1	20.5	

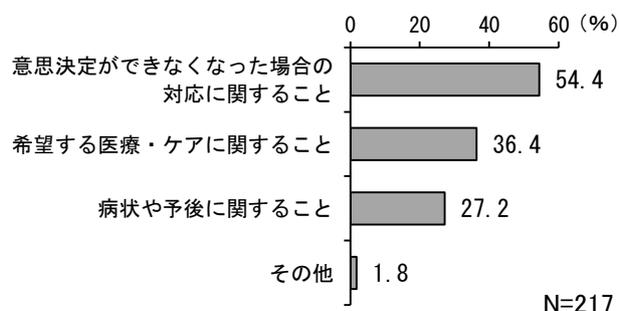
### 10-7 人生会議で考えた内容

(問9(5)-①で「1 自分ひとりで考えたことがある」から「3 家族と話し合ったことがある」を選んだ方に)

問9(5)-② どのような内容を考えましたか、または話しましたか。(〇はいくつでも)

- 人生会議で考えた内容は、「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が54.4%で最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」(36.4%)、「病状や予後に関すること」(27.2%)となっています。
- 世帯状況別でみると、「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」は1人暮らし(62.9%)でやや高くなっています。
- 認定状況別でみると、大きな差はみられませんでした。

【人生会議で考えた内容】



問9(5)② 人生会議で考えたり話したりした内容

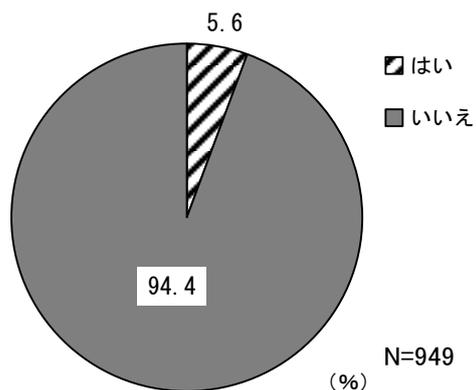
		件数	応に 関す こと との 対な	意 思 決 定 す る 場 合 の き 対な	ア 希 に 関 す る 医 療 と ケ	る 病 こ 状 や 予 後 に 関 す	そ の 他
全 体		217 100.0	118 54.4	79 36.4	59 27.2	4 1.8	
世帯 状 況 別	1人暮らし	35 100.0	22 62.9	10 28.6	9 25.7	- -	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	83 100.0	44 53.0	32 38.6	21 25.3	1 1.2	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	9 100.0	5 55.6	4 44.4	2 22.2	1 11.1	
	息子・娘との2世帯	60 100.0	34 56.7	22 36.7	18 30.0	1 1.7	
	その他	26 100.0	13 50.0	9 34.6	7 26.9	1 3.8	
認 定 状 況 別	要支援1	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	
	要支援2	11 100.0	6 54.5	3 27.3	3 27.3	- -	
	事業対象者	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	
	認定なし	199 100.0	110 55.3	73 36.7	54 27.1	3 1.5	

### 10-8 家族における認知症の症状の有無

問9(6) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

- 自身または家族に認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「はい」が5.6%となっています。
- 認定状況別でみると、大きな差はみられませんでした。

【自身または家族における認知症の症状の有無】



問9(6) 自分か家族に認知症の症状があるか

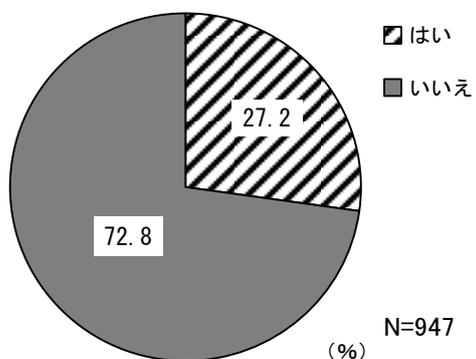
		件数	はい	いいえ
全体		949	53	896
		100.0	5.6	94.4
認定状況別	要支援1	13	1	12
		100.0	7.7	92.3
	要支援2	34	1	33
		100.0	2.9	97.1
事業対象者	10	1	9	
	100.0	10.0	90.0	
認定なし	892	50	842	
	100.0	5.6	94.4	

### 10-9 認知症の相談窓口について

問9(7) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- 認知症に関する相談窓口を知っているかどうかについては、「はい」が27.2%となっています。
- 認定状況別でみると、「はい」は事業対象者(66.7%)で高くなっています。

【認知症に関する相談窓口の知名度】



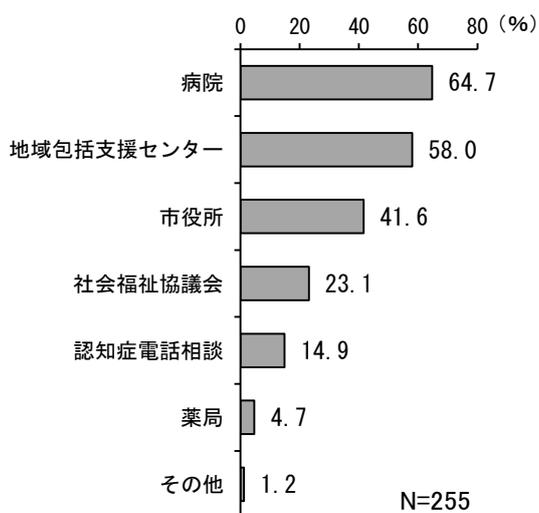
問9(7) 認知症に関する相談窓口の知名度

		件数	はい	いいえ
全体		947	258	689
		100.0	27.2	72.8
認定状況別	要支援1	13	4	9
		100.0	30.8	69.2
	要支援2	34	5	29
		100.0	14.7	85.3
事業対象者	9	6	3	
	100.0	66.7	33.3	
認定なし	891	243	648	
	100.0	27.3	72.7	

(問9(7)で「1 はい」を選んだ方に)  
 問9(7)-① 認知症について相談できる所で、知っている場所はありますか。(〇はいくつでも)

- 認知症について相談できる所で知っている場所は、「病院」(64.7%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター」(58.0%)、「市役所」(41.6%)が高くなっています。

【知っている認知症についての相談先】



問9(7)① 知っている認知症についての相談先

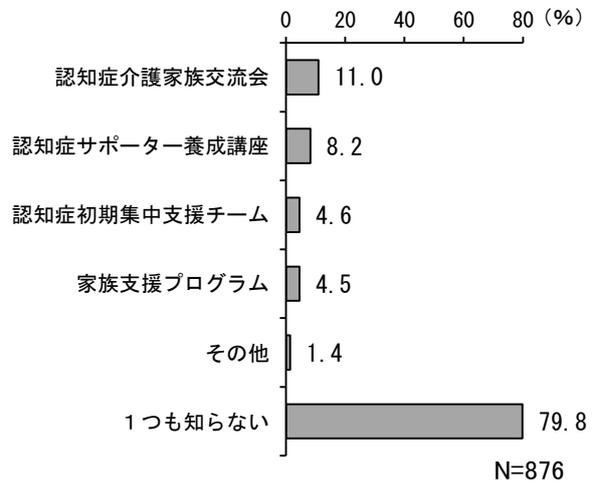
	件数	病院	地域包括支援センター	市役所	社会福祉協議会	認知症電話相談	薬局	その他
全体	255	165	148	106	59	38	12	3
	100.0	64.7	58.0	41.6	23.1	14.9	4.7	1.2
認定状況別	要支援1	4	2	3	1	-	-	-
		100.0	50.0	75.0	25.0	-	-	-
	要支援2	5	3	4	1	1	-	-
		100.0	60.0	80.0	20.0	20.0	-	-
事業対象者	6	4	6	1	-	-	-	-
	100.0	66.7	100.0	16.7	-	-	-	-
認定なし	240	156	135	103	58	38	12	3
	100.0	65.0	56.3	42.9	24.2	15.8	5.0	1.3

10-10 津島市の認知症施策の知名度

問9(8) 津島市では認知症施策として以下のような事業を行っていますが、知っていますか。(〇はいくつでも)

- 津島市の認知症施策で知っている事業は、「1つも知らない」(79.8%)が最も高く、具体的項目では、「認知症介護家族交流会」(11.0%)、「認知症サポーター養成講座」(8.2%)の順で高くなっています。
- 世帯状況別でみると、「1つも知らない」は夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(90.9%)で高くなっています。
- 認定状況別でみると、「認知症介護家族交流会」「認知症サポーター養成講座」は事業対象者で高くなっています。

【知っている市の認知症施策】



問9(8) 知っている市の認知症施策

		件数	交流会	認知症サポーター養成講座	支援チーム	認知症初期集中	家族支援プログラム	その他	1つも知らない
全体		876	96	72	40	39	12	699	
		100.0	11.0	8.2	4.6	4.5	1.4	79.8	
世帯状況別	1人暮らし	155	12	11	2	5	3	134	
		100.0	7.7	7.1	1.3	3.2	1.9	86.5	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	343	46	34	18	20	3	265	
		100.0	13.4	9.9	5.2	5.8	0.9	77.3	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	1	2	1	1	-	30	
		100.0	3.0	6.1	3.0	3.0	-	90.9	
息子・娘との2世帯	198	18	15	7	6	5	159		
	100.0	9.1	7.6	3.5	3.0	2.5	80.3		
その他	137	19	10	9	6	1	104		
	100.0	13.9	7.3	6.6	4.4	0.7	75.9		
認定状況別	要支援1	11	1	-	-	-	-	10	
		100.0	9.1	-	-	-	-	90.9	
	要支援2	30	4	2	1	2	1	25	
		100.0	13.3	6.7	3.3	6.7	3.3	83.3	
事業対象者	10	3	2	-	-	-	6		
	100.0	30.0	20.0	-	-	-	60.0		
認定なし	825	88	68	39	37	11	658		
	100.0	10.7	8.2	4.7	4.5	1.3	79.8		

10-11 介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問9（9） その他、介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

● 介護・高齢者福祉に対して、下記のような意見・要望を183件いただきました。

No.	内 容	件数
1	交通手段について	18
2	集いの場・介護予防・教室について	16
3	健康について	10
4	認知症について	9
5	情報の提供・公表について	9
6	介護保険料について	9
7	将来等への不安について	9
8	相談支援について	8
9	介護サービス（在宅）について	7
10	介護サービス（施設）について	6
11	経済的支援について	6
12	役所・事業者等の対応について	6
13	地域のたすけあいについて	5
14	介護認定について	4
15	在宅介護について	3
16	終末ケアについて	2
17	バリアフリーについて	2
18	市の高齢者施策について	7
19	福祉サービス全般について	12
20	アンケートについて	11
21	その他	24

## 1 交通手段について

- ・現在、運行している「ふれあいバス」のコースをもっと多くしてほしい。バスは多人数乗れるバスでなくても10~15人位のワゴン車で地域の奥まで入れるワゴン車で地域の奥まで入れるように考えてほしい。
- ・高齢者向けの講座のある会場へふれあいバスか乗合タクシーがあったら、参加者が多くなると思う。
- ・運転免許証を返納した後、病院へ行く方法がないので、今から心配。ふれあいバスは病院のある所を走っていない場合はどうしたらよいのか。また、市外の病院へ行く時も困る。年寄りの足を確保できるようにしてほしい。
- ・巡回バスのAコースをよく利用させてもらいありがたく思っているが、できれば朝もう少し早い時間を1本増便してもらえればありがたい。帰りはいつもタクシー。また、市営墓地の近くにもバスを通してほしい。
- ・愛宕町在住だが、市バスを運行してほしい（市役所、市民病院）。
- ・ふれあいバスの回数をもっと増やしてほしい。
- ・後期高齢者。車の運転に不安を感じるが、手放した時、今の生活が維持できなくなり、とても不安。ふれあいバスがもっと便利になるとよい。本数を増やしたり、タクシーの割引チケットを発行してほしい。
- ・講座に出席したいが、交通機関が少ないため残念に思っている。せめて、1時間おきのふれあいバスがあればいつも思っている。
- ・津島市は車なしでは生活できない所。ふれあいバスは絶対無くさないでほしい。暮れはせめて12月30日までであると助かる。
- ・ふれあいバスの回数を増やしてほしい。
- ・市の巡回バスが通らないので、老後が心配。市民病院、買い物（ヨシヅヤ）など行くことができず、不便。市民税を使うなら不公平がないように。巡回コースの見直し、変更を願う。
- ・公共施設の巡回バスの増便化。
- ・来年、自動車の免許証が更新だが、84歳と高齢のため返納を考える。今年身体障がい者になり、交通手段に困っている。コミュニティバス停留所まで歩行困難。出かける交通手段を考え中。
- ・まず運転免許返納者を多くして、高齢者が個々の車を使わず、公共の交通運賃手当を出してもらって、医者なり買い物を自由にできるようにしてほしい。名古屋は交通費を一定額負担してどこへでも出かけられるのがすごい。よく出かけることは足腰の活性化につながり、結局医療費削減にもつながる。若い人々と交流の場をつくり、(天王川公園で)色々なマラソンを試してみたり、夏には小学生たちと一緒にラジオ体操してみたりというつながりをもってみたい。
- ・私ども高齢者は免許証返納により移動に不便を感じる。市バスの停留所を広範囲にしてほしい。
- ・出かけることに意識は強いので、バス、電車の無料化（名古屋等は自由に動いているのでうれしい）。
- ・名古屋市に主人が10年入院しているので、子どもが主に洗濯に行くが、私は行くことができない。若い方が入院で、私はあまり体がよくないので困る。足腰があまりよくない。年なので無理はできない。
- ・以前救急車（軽い症例）に10年間の間に2回程来てもらったが、15~20分かかった。それならタ

クシーで行ってもよかったかなと思った。津島市の端にあるためかもしれないが。

## 2 集いの場・介護予防・教室について

- ・高齢者が気軽に参加できるサークルが少ない。
- ・高齢者がいつでも自由に集い、楽しめ、語り、趣味を活かせる場所が市内に数か所住民の身近にあれば、身体的に健康になると思われる。
- ・街路樹とベンチが町内に多くあるとよいと思う。
- ・低い料金でカラオケ好きな人たちが集まって月に1～2回遊べる場所があり、その時に認知症予防の体操があればいいと思う。乗り物に困る人はバス停の近くで市の乗合バスを使用してもらうのはどうか。
- ・病気にならないためにはどうしたらよいか（予防方法）、正しい知識を教えてほしい。高齢者が集まって楽しめる場所をつくってほしい（認知症になる前に）。
- ・市財政悪化に伴うものと、生きがいを伴うものと分けなければいけないが、高齢者福祉活動の場としての公共施設（生涯学習センター、伝承の館等）がなくなっているため、高齢者の生きがいの場を増やすことに努力をしてほしい（集いの場がなくなる方向にあるため）。
- ・気楽に安心できる広い公園がほしい。
- ・高齢者が気楽に集う場所が近くなる、人数が少ない。
- ・今のところはまだ元気に過ごすことができているのでピンとこないが、健康寿命で長患いをしないよう、今からできることから始めたいと思う。
- ・その時に備えて準備（勉強）しようと思う。
- ・年をいってから身体が動かなくなるからリハビリというより、動かなくなる前に参加できる場所を役所レベルでつくっていただけるとありがたい。週に1～2回参加できる誰でも行きやすい場所、それには交通手段も考えていただかないといけない。
- ・介護予防の教室に行きたくても足がないので、区域ごとにあつたらいいなと思う。
- ・元気サンサン教室は二度も定員オーバーで心が折れた。
- ・以前は、趣味、転倒防止、料理教室など参加していたが、高齢で通うのが困難になり、近くにあれば参加したいと思う。現在、隣家の方々と互いに安否確認などし、日々自己管理には心がけている。
- ・健康で年をとれるよう、予防的な体操など、50代～60代で、近くに行ける所がほしい。60代の時にプールに行っていたが、巡回バスが通っていなかった。
- ・今後、高齢者がますます増えてくる。介護・寝たきりにならないためにも、予防のための教室や講座の開催場所を1箇所を集めて行える施設（場所）があれば、参加しやすいと思う。

## 3 健康について

- ・配偶者と二人、食生活に気をつけて、毎日を旅として一日一日元気に過ごしたい。できなくなった時は、自分たちに合った介護施設に世話になるつもりである。
- ・住み慣れた地域で安心して生活できるように、専門家が連携して健康などに対してサポートできたらよい。
- ・いくつになっても、何かをやって（自分の体力に合わせて）、体を動かしたり楽しみをもって生活するなら、少しは健康に役立つ。しかし、老化は誰も止めることができないので、よくない状態に

なったら助けが必要なので、その時に助けてほしい。

- ・現在はどうか健康体のため深く考えていなかったのですが知らないことが多いが、今後は、と思う。
- ・体に良い・悪い行動、食料はない。体は自然に良い・悪いは判断するので、あまり良し悪しを決めないで自然体で生きる。
- ・転居して3か月ほどなので、全くの無知状態。健康でいられるように頭と体をしっかり保ちたい。家族に感謝して、ペットと暮らせることを幸せに感じている。
- ・体が不自由になると世話になると思うので、元気でいたいと思う。
- ・できるだけ頑張りたいと思っている。
- ・自分は他の方と比べて比較的若いと感じている。
- ・この頃何となくストレスがたまってしまうのかなと思う。2、3年前まではよかったのに、遺書でも書いておいたらいいか、教えてほしい。

#### 4 認知症について

- ・もしも認知症になったらと思うこともあるが、思わないようにしている。
- ・母が認知症だったので、20年以上前にヘルパーの資格を取った。現在も認知症サポーター養成講座やミニデイサービス（JA）などに参加している。
- ・高齢になり認知症について再度考えるように認識し、生活することを心がけている。
- ・現在自分の身体が介護を必要としていないため何も思いつかないが、一緒に同居している家族にお願いすることになると思う。その時がきたら、認知症初期集中支援チームに色々聞くように言っておきたい。
- ・以前、脳血管症の認知症で主人を送ったが、調査票（8）の認知症施策のことをほとんど知らなかった。電話相談や包括支援センターには相談したが、もっと早く知れたらよかったのには思う。
- ・自分が認知症かどうかわからない。調べてもらったほうがよいかもわからない。独居だが、受診したほうがよいのか。
- ・姉を一人、軽い認知症を看ている。
- ・認知症になった時には至急手配してほしい。
- ・不勉強で申し訳ない。自身が健康のため認知症に関して理解していなかったが、今後勉強、理解するよう頑張りたいと思う。

#### 5 情報の提供・公表について

- ・人材銀行をつくっても活用の事例が公表されていない。
- ・介護保険料を支払っているが、介護サービスを受けられる基準等を知りたい。何かパンフレットがあるか。
- ・調査票（5）にも書いたが、自分に合った介護施設を調べておきたいので、細かいことを書いた介護の紹介を市のHPに載せてほしい。施設で子ども扱いのボール遊びなどしたくないので、合唱とかマージャンの設備とか、外出もウォーキングとか、大人として扱ってくれる施設を知っておきたい。細かい入居費など。
- ・毎月の広報をわかりやすくしてくれることを要望する。
- ・友人の家族が最近介護認定を受けたが、ケアマネジャー事業所の一覧表が送られただけで、どこの

事業所を選んでよいか悩んでいた。もっときめの細かい対応や情報発信をしてほしいと思う。

- ・私が知らないだけかもしれないが、調査票（8）の認知症施策に関する広報活動を積極的に行ってほしい。
- ・もっと気軽に介護の指定を受けられるように町内会を通じて教えてほしい。転倒が今年に入って頻繁にあり、手すり（玄関、トイレ、風呂）等をつけたいが、わからない。
- ・介護に関する記事を広報にでもっと詳しく知りたい。
- ・市で行っている介護や高齢者福祉サービスの取り組み内容を、ポスターやパンフレットなどで市民の目にふれやすい場所に紹介していただけるとありがたい（気づいていないのかもしれない）。

## 6 介護保険料について

- ・介護保険料が高い。（2件）
- ・介護保険は誰でも使いやすい料金にしてほしい。
- ・介護保険料はできるだけ安く設定され、今より高齢者福祉に力を入れるよう希望する。
- ・介護保険料が他市に比較して高い理由は。無駄はないか検証はされているか。
- ・介護保険料を納めている人が、何かの事故または病気でなくなった場合、納めていた保険料はどうなるのか知りたい。
- ・介護保険の支払いが高額すぎる。自己負担金の部分を増加したほうがよい。安易に介護保険を使いすぎている。
- ・介護保険料について、保険料が高いと感じている。利用者の負担をもう少し上げてはどうか。
- ・介護保険料は相互扶助と理解できるが、どこに使用されているかは理解に苦しむ（母親の介護経験から）。

## 7 将来等への不安について

- ・今は自分で外出もできるが、今後老化が進み一人で行動できなくなった時、子どもたちも遠方に住んでいるため、誰を頼ればよいかわからない。孤立してしまう人が増えるのではないか。災害の時、情報も伝わらなくなるのではないかと心配している。
- ・主人が80歳に近く、最近あれと思うことがあり心配している。外出は一人でできないのでその点は大丈夫だが、電話で話すことが好きなのでだまされないか心配している。
- ・主人は他地方出身、私は県内で近くに親族がいない。子どもは関東で、2人に何か手伝ってほしいことができた時が心配である。
- ・これから先、どう生きていけばいいか、何も計画もないので、すごく不安である。
- ・今現在健康であるゆえ考えていないが、一人生活だからとても不安の毎日である。
- ・米寿を迎え感謝している。20年以上一人であるので健康が心配（娘・息子は離れている）。
- ・安心できることが大切である。
- ・配偶者と共に年金受給額が少額で、現在アルバイト勤務だが、働くことができなくなった時の不安が多額である。
- ・家族が他県で、津島に一人で不安である。

## 8 相談支援について

- ・一人暮らしなので、何かの相談窓口はあるのか知りたい。残りの人生を少しでも楽しく生きたいと思うが、未来は不安ばかり。
- ・そのような状態にならないと今は何ともわからないが、窓口があるのは心強い。どこへ相談していいのかさっぱりわからないので、そこのところは不安。一人暮らしなので、民生委員が回ってくれとうれしい。
- ・施設や事業についてよく知っているつもりだが、初期の本人の気持ちを他人に知られたくないと思う。気持ちがひどく落ち込んでしまうので、利用するのを思いとどまっている。先生とは相談している。
- ・介護に困っている人、どこで相談していいのかわからない人が多い。介護認定を受けずに家族で看ている人が多い。家族が崩壊する前に、助言や手を差し伸べるシステムがあるといい(民生委員等)。
- ・医療保険、介護保険の窓口を一本化してほしい。親の死後の手続きが煩雑だったので、ワンストップ窓口での手続きにできないか。
- ・介護だから、高齢者福祉だからと構えないで、ちょっと不安だからとか、少し聞きたいからという人たちが、簡単に相談できるような開かれた場所であってほしい。
- ・どんな小さなことでも相談できるように。
- ・相談しやすい市になってほしい。

## 9 介護サービス（在宅）について

- ・デイサービスの充実。
- ・外出時の同行補助はあるか。買い物、郵便局、美容院など。
- ・独居になった時の不安（病気）がないような定期的な訪問サービスを受けられたらと願っている。
- ・できれば夕食（温めてすぐ食べることができる料理）を安く提供してほしい。今は、お米もおかずも冷凍食品ばかりですましている。
- ・地域密着型、小規模多機能事業の充実を願う。中学校区ごとにでもできれば、在宅介護の充実に大いに役立つものと思う。
- ・居宅介護にもっと力を入れてほしい。手続き等が他の市町村に比べて面倒。丁寧でわかりやすい発信をお願いしたい。
- ・90歳以上の姉が他県で一人住まいで、掃除や食事の支援などで困っているが、後は自分でできるその姿を見ていると、自宅で年をとってもそういう協力があれば、慣れた家で自分のことは自分でやる生活が続けば幸せだと思う。

## 10 介護サービス（施設）について

- ・単身高齢者の介護施設（低料金）の充実化。
- ・みんな仲良く入れる施設ができるといい。平等になれるようにしてほしい。
- ・ボランティアに行っていて感じたことだが、いくら施設に入って管理体制の中にいるとはいえ、もう少し自分のできることは自分でやれるような仕組みがあると、認知症にもならないのでは（進まないのでは）。
- ・施設に入った場合、要介護5になった時の病院との関係を知りたい。

- ・施設に入るにあたり、入所待ちの状態になるようなことにならないようにしてほしい。
- ・施設の充実。費用が高すぎるのでは。費用は年金でまかなえるのが基本。

## 11 経済的支援について

- ・施設で暮らす時、個室を利用すると高額になるが、今の半分位の金額が設定されていれば利用者も多いと思う。お金がなくて介護が受けられない人もたくさんいるのではないか。
- ・経済的に大変苦しいから介護を受けることが難しい。
- ・介護されている人からも介護費用を徴収される。
- ・75歳以上の低所得者はバス、病院等、0円で行うこと。
- ・配偶者を亡くし一人で生活されている年金生活の高齢者の方に、福祉をもう少し頑張って助けてほしいとつくづく思う。お金の余裕のある方はいいので、生活の大変な方に目を向けてあげてほしい。
- ・家族が認知症で施設に入っているが、もう少し市から補助金を増やしてもらい、家族の生活を楽にしてもらいたいと思う。年金も少なく生活が苦しい。

## 12 役所・事業者等の対応について

- ・福祉では義務的な対応を少なくする。本人の気持ちの中まで入って対応。
- ・病院に入院の際、病状のあまりよくない時でも、次の病院に行けと言わないでほしい。
- ・市民病院はもう少し親切にしてほしい。一人住まいなので、タクシーを使って行っても断るようなことはしてほしい。
- ・有能で役に立つ人の登用を望む。親切に対応できる人（誰にでも同じ行動ができる）を配慮してほしい。
- ・福祉の充実は大切だが、それ以前にその仕事に従事する方々の人間性とか、対応できる人材の確保が大切だと思う。
- ・高齢者が一人住まいをできる市住宅などが津島にはなく、とても不安である。今はまだ仕事をしているので生活できているが、年金だけになった場合どうすればいいのか。以前「単身者はどうしたらいいのか」と住宅の相談に行ったところ「さあ」と言われ、話してもらえず、津島にがっかりした。

## 13 地域のたすけあいについて

- ・元気な高齢者を維持するため、社会に役立ち、なおかつ健康のためという利点を考え、見守り隊をつくったらどうかと提案。子どもの下校時、この町には皆の目がある。皆が意識して犯罪を防ぐことをアピールしたらと思う。
- ・私たちの町内は市のバスも来ない。町内も2件、孤独死することがあった。空家が多くて困る。
- ・地域の民生委員の活動を知りたい。
- ・数年前、家の中で転倒し身動きできなかったが、翌朝、地域支援の人達が訪問して救助してくれ、ありがたく思っている。
- ・当人と家族及び民生委員、さらに町内自治会、その他地域活動の輪をつなげる連絡体制を確保してほしい。次に高齢者が非常時に連絡先（名前、電話番号）を示すことができる保険証を作成して、

常時持っているようにしてほしい。

#### 14 介護認定について

- ・介護認定の判断が厳しすぎるような気がする。10年前に家族の世話をしている時もそうだった。
- ・介護認定は平等にしてほしい。高齢者施設にはなかなか入れない。他県では高齢者見守りICTで効率化とテレビで見たが、職員のほうが少人数でできるのでよいのではないかと思った。
- ・前回より介護認定が厳しくなり、親の認知症がひどくなっているのに、認定が前回と同じで残念である。
- ・介護認定を厳しくしてほしい。

#### 15 在宅介護について

- ・友人が配偶者の介護をしているが、睡眠を妨げられ本当に大変らしい。
- ・夫が要介護1になり初めて知った。家に手すりが付き、助かっている。風呂も一人で入れるようになり、以前のようにグラウンドゴルフをやれるように願っている。
- ・医療的ケアが必要な体調になると、在宅では介護、看護は困難だと考えている。特に夜間、緊急対応が必要になると思うと、施設または病院を頼る。夫の母がデイサービス、療養病床に数年世話になると、「人」としての生き方の選択、本人の希望を健康な時に伝えられるシステムが必要だと感じている。介護と医療は別物であり、家族で介護はできても看護は難しいと感じている。

#### 16 終末ケアについて

- ・家族の有り様がどんどん変化していくので、それと高齢者がどう終末を迎えるのかが見通せないと思う。家族の一人ひとりが支え合うという根本の意識をもてることが一番大切。
- ・ACPのことが述べられていたが、この中に終末期の対応がなされないので、ACPの推進とともに一人で黄泉の道を歩くことができることを希望したい。

#### 17 バリアフリーについて

- ・高齢者が歩く道や歩道を安全にしてほしい。
- ・自分が住んでいるビルは4階建だが、階段に手すりがないので困っている。オーナーに頼んだが、いまだに付けてくれない。皆が困っているので、市役所で交渉してほしい。

#### 18 市の高齢者施策について

- ・介護、高齢者福祉は、津島市は後退している。
- ・行政に期待していない。
- ・お金のかかることなので、メリハリをつけて事業を進めていってほしい。
- ・介護保険について、高齢者で長期利用していない人に、頑張ったでしょうと、褒美として何か答えてもよいのではないか。
- ・今後、高齢者が増え、一人暮らしも増えると思う。経済的に大変とは思いますが、できる限りやさしい町にしてくれることを望んでいる。住みやすい津島市になってほしい。名古屋市にはかなわなくても、少しでも津島の良さを知らせることができたらいいなと思う。

- ・サービスを受ける人がどんな状態なのか、真剣に考えて行動してほしい。
- ・官、民、地域の協力体制も必要。

## 19 福祉サービス全般について

- ・高齢者社会になっていくので、市の方で支援をお願いしたい。
- ・健康寿命を延ばす施策の充実。
- ・高齢者＝介護の発想転換。
- ・日本国中で大問題になりつつある少子高齢化社会に向けて、本気に真剣に考えている人々が政治家を志して明るい未来を創造してもらいたい。
- ・介護、高齢者福祉に希望する。病院利用が十分できるようになってほしい。
- ・介護の負担からの事件を見聞きするたびに、明日は我が身と胸が痛くなる。家族だけでは限界がある。公的サービスや地域社会の互助活動で何とか乗り切っていけるような施策を強く望む。介護施設、そこで働く人々の質の向上のためにも、行政からの働きかけを望む。
- ・年齢を重ねている場合の支援等の方法。
- ・後継ぎのいない老夫婦の対策を是非とも考慮してほしい。
- ・介護士の給料を上げて、優秀な人材が多くなるよう、国として高齢者福祉を手厚くしてほしい。国会議員の人員が多すぎるし、年収も多すぎる。介護に費用を回すこと。
- ・今後、ますます高齢化が進む中で、効率的に適正な予算配分で安心して受けられる各種サービスのレベルアップに努めてほしい。
- ・手続きが複雑で、もっと簡素化してほしい。
- ・団塊世代が高齢化になり、それに伴って福祉サービスが低下していくことが気になっている。

## 20 アンケートについて

- ・市の高齢者等の取り組みに、市を初め介護課の皆様、大変ご苦労様。調査の成果に期待している。
- ・今のところ介護と認知症に対する自己認識がないため、意見・要望も特にないが、アンケートを記入するうち、そろそろ終活について考える必要もあるのかなと思えてきた。
- ・高齢者でありながら現実必要としない生活なので、自分のことのように実感がないが、アンケートを見て、勉強もしないといつ何が起きるかわからないし、人に迷惑をかけないような生き方がしたい。しかしなかなか実行できないし、まず少しでも歩こうかと思う。
- ・それぞれに持つ身体の不自由さは個人差もあり、質問に対してイエス・ノーの回答は何とも答えづらい思いがある。増えてゆく我々高齢者に対して、色々考えてもらっていることに感謝している。
- ・色々教えてくれてありがたかった。
- ・勉強になった。
- ・今までに高齢者介護の経験がなく、名前だけ知っていても記入できない所もあった。
- ・昭和一桁生まれの人間には少しわかりづらいが多すぎる。
- ・？を付けた所は意味がよくわからないと答えようがないのでは。
- ・アンケートを見て、知らないことばかりだった。
- ・アンケート封筒が小さすぎる。A4がそのまま入る大きい封筒を。名前は無記名にすべきではないか。アンケート調査のレベルが低すぎる。的を射たアンケートの研究をすべきだ。

## 21 その他

- ・介護する側の支援。
- ・要介護にならないよう頑張りたい。現在、事務職として勤務しているため、土・日曜に行事があると良いと思っている。
- ・助け合いの精神としては良いことだが受けずに亡くなる人がいることをもう少し考慮してほしい。
- ・リニアの残土で鹿伏兎地域をかさ上げして命山を作り、くるみを植え、津島の特産物にする。
- ・定年後も仕事をしているので、介護、福祉に関してはまだよくわからない。
- ・現状フルタイムで働いているので、介護等に関する情報はあまりない。
- ・今のところ二人とも介護の心配がないので、はっきりとわからない。控えさせてほしい。
- ・今のところ思い浮かばない。
- ・私が知らないだけで、色々考えて支援し、心配してくれていることを知り、安心した。本当にありがたく思う。
- ・頑張してほしい。
- ・高齢者が安心できる生活をよろしく。
- ・高齢者もできる範囲内で自覚をする心構えが必要である。
- ・いくつから高齢者なのか。年金から復興特別税を引かない。おかず、税金が払える。全部確認して返事してほしい。
- ・高齢者対策だけでなく、少子化が進む中、将来の人口マイナスが避けられない現状を、あらゆる機会を通じて市民に（国民に）知らせてほしい。津島市というよりは、国家全体で真摯に未来の日本について考え、行動する必要に迫られていると思う。
- ・障がい者になって、特に障害者自立支援法が平成 16 年頃に廃止になり、介護サービスに力点が変わり、市役所に届けた ETC カードの半額負担が勝手に免除されている。不審に思っている。
- ・毎月の広報つしまをさっと目を通してはいるが、少しパートで働いているため細かくはわからない。津島祭り、藤まつり、良い行事があるが、宿泊する建物がない。宿泊できるホテル等作ってほしい。
- ・年々自転車ペダルも重くなり、介護福祉を考える年になり、こういうアンケートも書く時になったと思い、歩くことも遅くなり、小さな子どもに追い越され、介護高齢者になる。やがて死ぬと思う日々が多くなる、それが今の自分だろうと思う。
- ・他市より転居、病院勤務しているが、職を引いた時、市の業務の手助けをしたいと思っている。
- ・ガンの手術後に、昔のことを思い出したり、物の名前等発言したりすることを、送迎つきである病院でもらった。数年前のことだが、今でもあの時のことはよかったと思っている。
- ・体が痛く、歩行もスムーズにいかない。日常で 3 日に 1 回、食料の買い物にスーパーに出かけるのみ、狭い部屋でこもりきり、掃除ができず、汚い部屋で毎日、「明日は掃除しよう」と思うだけで実行できず、唯、凡々と日々を送るのみ。
- ・妻が市民病院に数か月間入院していた頃、幼い孫を育てながら介護・看病で精神的肉体的経済的に非常に追い込まれて身体を壊し、体重がわずかな間に 10 kg 以上も減った。2 人部屋を希望したが空きがなく、部屋代と治療費で 50 万円以上かかり、高額医療による払い戻しはあったものの、母子家庭とは違い父子家庭には支援がなかった。兄弟は遠方のため一人の肩にのしかかり、病人が出ると大変だと思った。

## II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- ・若い人の高齢者嫌悪から守ってほしい。その時が来たら静かに終わりたい。やさしく対応してほしい。
- ・現在、病院に通っているので、他のことは考えていなかったが、今後は考えていきたい。
- ・現在、配偶者ががんの闘病に追われ、無知のまま生活している。市の職員の対応には、ほっとし、感謝している。

## 11 認知症チェックリストの状況

### 11-1 認知症チェックリストの状況

- 一般高齢者及び要支援者・事業対象者に対して、愛知県及び国立長寿医療研究センターによる「認知症チェックリスト」を参考にした認知症の発症リスクに関する設問を「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」において設置（下表参照）し、調査を実施しました。回答を集計し、認知症の発症リスクの高い方の人数を調べました。

#### <認知症の発症リスクに関する調査項目>

問番	設問	該当選択肢
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	はい
問4(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい
問4(4)	同じことを言ったり聞いたりすると言われることがありますか	はい
問4(6)	慣れた所で道に迷ったことがありますか	はい
問4(9)	蛇口・ガス栓の締め忘れがなく、火の用心ができますか	いいえ
問4(15)	複雑なテレビドラマが理解できますか	いいえ
問4(21)	日課をしなくなりましたか	はい
問4(22)	だらしなくなつたと感じることはありませんか	はい
問4(24)	最近、よく身の回りの物がなくなつたと感じることはありませんか	はい
問7(4)	この1か月間、怒りっぽくなつたと感じることはありましたか	はい
問7(5)	夜中に急に起きだして、大声を出したことはありましたか	はい
問7(6)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

- 集計の結果、12項目中3項目以上に該当する人は33.9%、4項目以上に該当する人は22.5%となっています。
- 認知症リスク項目該当数を性・年齢別でみると、3項目以上該当者は年齢が上がるにつれて概ね割合が高く、いずれの年齢層でも男性より女性での割合が高くなっています。
- 認定状況別でみると、3項目以上該当者は要支援1で50.0%、要支援2で54.3%、事業対象者で90.9%となっており、認定なしの32.2%に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別でみると、大きな差はみられませんでした。
- また、アンケート回答者に対する事業案内の可否別でみると、3項目以上該当者は案内可の人で33.7% (272人)、案内不可の人で37.5% (30人) となっています。
- 前述の愛知県及び国立長寿医療研究センターの「認知症チェックリスト」では、13項目中3つ以上の該当者に対して、認知症についての相談が勧められています。

認知症チェックリストの状況

		件数	4項目以上該当	3項目該当	2項目該当	1項目該当	ないずれも該当し	
全体		977 100.0	220 22.5	111 11.4	155 15.9	207 21.2	284 29.1	
性・年齢別	男性	65～74歳	246 100.0	39 15.9	29 11.8	43 17.5	54 22.0	81 32.9
		75～84歳	216 100.0	50 23.1	25 11.6	33 15.3	49 22.7	59 27.3
		85歳以上	37 100.0	10 27.0	6 16.2	6 16.2	11 29.7	4 10.8
	女性	65～74歳	241 100.0	51 21.2	20 8.3	36 14.9	51 21.2	83 34.4
		75～84歳	191 100.0	52 27.2	26 13.6	29 15.2	36 18.8	48 25.1
		85歳以上	46 100.0	18 39.1	5 10.9	8 17.4	6 13.0	9 19.6
認定状況別	要支援1	14 100.0	6 42.9	1 7.1	2 14.3	4 28.6	1 7.1	
	要支援2	35 100.0	17 48.6	2 5.7	9 25.7	5 14.3	2 5.7	
	事業対象者	11 100.0	7 63.6	3 27.3	1 9.1	-	-	
	認定なし	917 100.0	190 20.7	105 11.5	143 15.6	198 21.6	281 30.6	
圏域別	暁・神守	563 100.0	130 23.1	61 10.8	92 16.3	120 21.3	160 28.4	
	天王・藤浪	414 100.0	90 21.7	50 12.1	63 15.2	87 21.0	124 30.0	
事業案内可否別	はい	808 100.0	181 22.4	91 11.3	130 16.1	170 21.0	236 29.2	
	いいえ	80 100.0	24 30.0	6 7.5	10 12.5	14 17.5	26 32.5	